

授業科目名	【新カリ】Basic English		授業形態	演習・クラス分け・単独
英語科目名	Basic English		開講学期	半期（前期）
対象学年	1		単位数	2.0
科目責任者	堀 智子			
科目担当者	堀 智子			
授業概要	<p>【授業全体の内容】 本科目は、演習の授業形態で行われる。入学時のプレースメントテストの結果により、各自の英語レベルに応じたクラスを編成し、基本的な語彙力を習得し文法や文構造を理解することで、実践的な英語運用能力を磨くための基礎固めをする。また、主体的に英語のスキルアップに取り組めるよう効果的な学習方法についても紹介する。教材には TOEFL 等の試験問題を積極的に取り入れ、英語資格・検定試験にも対応できる力を養成する。</p> <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】 この科目はスポーツ健康科学部において「グローバル社会において連携や協働を促進するためのコミュニケーション能力とリーダーシップ」という学位授与方針の達成に寄与する。</p> <p>【授業の到達目標】 1．英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2．身近な話題からキャンパスライフに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3．自分自身や身近な話題について英語で表現できる。</p>			
成績評価	<p>【成績評価の基準】 1．基本的な語彙や文法を理解し、文法問題やTOEFL問題などを解くことができる。（平常点、小テスト） 2．身近な話題や大学生活に関連する英語を聞き、英語表現、英語音声特徴を理解した上で、内容を把握できる。（平常点、小テスト） 3．自分自身や身近な話題について英語で話し、書くことができる。（平常点、小テスト）</p> <p>【成績評価の方法】 1．授業外課題、授業内活動、小テスト等(60%) 2．TOEFL (40%)</p>			
履修における留意事項	<p>【履修要件】 4月に実施するプレースメントテストのスコアによりクラス分けを行うので、指定クラスを受講する。</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。</p> <p>【テキスト・参考書等】 TOEFL TEST 必ずでる単 スピードマスター（Jリサーチ出版）</p> <p>このテキストは必ず購入してください。購入方法は別途連絡します。</p> <p>その他の教材については、担当者が授業内で指示します。</p>			
連絡先とオフィスアワー	<p>【連絡先】 担当：堀 智子 E-mail：t-hori[at]juntendo.ac.jp [at]を@に置き換えてください。</p> <p>【オフィスアワー】 火曜日 昼休み・4限</p>			
備考				

【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業30時間、予習・復習60時間の計90時間の学修を必要とする。1回の授業時間は100分とする。

【その他】

中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目

科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

施行規則に定める科目区分又は事項等：外国語コミュニケーション

英語力の伸びを確認するためにTOEFL ITP試験を年に2回実施する。

科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。

新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。

授業計画 【授業内容と準備学修等】

授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（レポート）
1	堀 智子	<p>【授業内容】</p> <p>ガイダンス：単位取得上の諸注意、授業展開の概要を説明する。また、英語力向上に必要な日々の学習方法を紹介する。</p> <p>アクティビティ：受講者同士のコミュニケーションを促進するための活動を行う。</p> <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p>	<p>（復習：4時間）</p> <p>授業内で紹介した学習方法で英語のリスニングや語彙学習を行う。</p>
2	堀 智子	<p>【授業内容】</p> <p>文法項目「品詞」：英文を構成する語の意味や働きで分類されている品詞について解説し、練習問題や読解の際に使えるようにする。</p> <p>リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、語彙や表現を確認する。</p> <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p>	<p>（予習：2時間）</p> <p>指示された語彙テキストの単語をおぼえる。</p> <p>（復習：2時間）</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p>
3	堀 智子	<p>【授業内容】</p> <p>文法項目「文構造」：英文構造の基本となる主語・述語動詞・目的語の関係を復習し、TOEFL問題で応用力を磨く。</p> <p>リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> <p>【授業方法】</p> <p>テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p>	<p>（予習：2時間）</p> <p>指示された語彙テキストの単語をおぼえる。</p> <p>（復習：2時間）</p> <p>授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p>

4	堀 智子	<p>【授業内容】 文法項目「動詞・句動詞」：自動詞/他動詞の区別や句動詞について復習し、TOEFL問題で応用力を磨く。 リスニング：日常生活に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> <p>【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p>	<p>(予習：2時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえる。</p> <p>(復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p>
5	堀 智子	<p>【授業内容】 文法項目「時制」：過去・現在・未来時制の特徴や使い分けを復習し、TOEFL問題で応用力を磨く。 リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> <p>【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p>	<p>(予習：2時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえる。</p> <p>(復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p>
6	堀 智子	<p>【授業内容】 文法項目「時制」：完了形の特徴や使い分けを復習し、TOEFL問題で応用力を磨く。 リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> <p>【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p>	<p>(予習：2時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえる。</p> <p>(復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p>
7	堀 智子	<p>【授業内容】 文法項目：ここまでの文法項目の復習をし、TOEFL問題で実践力を磨く。 リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 単語復習テストNo.1を実施する。</p> <p>【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p>	<p>(予習：2時間) 語彙テキストで指示された範囲の単語をおぼえる。</p> <p>(復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p>

8	堀 智子	<p>【授業内容】 文法項目「主語と動詞の一致」：主語と動詞の関係を復習し、TOEFL問題で応用力を磨く。 リスニング：キャンパスライフに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> <p>【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p>	<p>(予習：2時間) 語彙テキストで指示された範囲の単語をおぼえる。</p> <p>(復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p>
9	堀 智子	<p>【授業内容】 文法項目「主語と動詞の一致」：前回の復習し、TOEFL問題で応用力を磨く。 リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> <p>【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p>	<p>(予習：2時間) 語彙テキストで指示された範囲の単語をおぼえる。</p> <p>(復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p>
10	堀 智子	<p>【授業内容】 これまで行った文法項目の理解をTOEFL問題に応用する。 リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> <p>【授業方法】 テキストと配布プリント等を用いて講義・ペアワークを行う。</p>	<p>(予習：2時間) 語彙テキストで指示された範囲の単語をおぼえる。</p> <p>(復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p>
11	堀 智子	<p>【授業内容】 文法復習テスト：TOEFL形式の問題で理解度を 確認するためのテストを実施する。 リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> <p>【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p>	<p>(予習：2時間) 語彙テキストで指示された範囲の単語をおぼえる。</p> <p>(復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p>
12	堀 智子	<p>【授業内容】 文法項目：復習テストで間違いが多かった項目について解説を行い、練習問題を行う。 リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> <p>【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p>	<p>(予習：2時間) 語彙テキストで指示された範囲の単語をおぼえる。</p> <p>(復習：3時間) 復習テストで間違った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p>

13	堀 智子	<p>【授業内容】 文法項目：復習テストで間違いが多かった項目について解説を行い、練習問題を行う。 リスニング：講義トピックに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 単語復習テスト No.2 を実施する。</p> <p>【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p>	<p>(予習：2時間) 語彙テキストで指示された範囲の単語をおぼえる。</p> <p>(復習：3時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p>
14	堀 智子	<p>【授業内容】 前期学習内容の総復習</p> <p>【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p>	<p>(予習：2時間) 単語テストで間違った単語について再度確認しておく。</p> <p>(復習：4時間) 授業で扱った項目について総復習する。</p>
		定期試験	

授業科目名	【新カリ】Basic English	授業形態	演習・クラス分け・単独
英語科目名	Basic English	開講学期	半期（後期）
対象学年	1	単位数	2.0
科目責任者	堀 智子		
科目担当者	堀 智子		
授業概要	<p>【授業全体の内容】 本科目は、Basic English で確認された強化すべき学習項目に配慮しながら、基本的な語彙力の習得と文法や文構造の理解を深め、実践的な英語運用能力向上の素地となる基礎固めを確実に。教材は TOEFLの試験問題を積極的に取り入れ、英語・資格試験に対応できる実践力を養成する。</p> <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】 この科目はスポーツ健康科学部において「グローバル社会において連携や協働を促進するためのコミュニケーション能力とリーダーシップ」という学位授与方針の達成に寄与する。</p> <p>【授業の到達目標】 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題からキャンパスライフに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で表現できる。</p>		
成績評価	<p>【成績評価の基準】 1. 基本的な語彙や文法を理解し、文法問題やTOEFL問題などを解くことができる。 2. 身近な話題や大学生活に関連する英語を聞き、英語表現、英語音声特徴を理解した上で、内容を把握できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で話し、書くことができる。</p> <p>【成績評価の方法】 1. 授業外課題、授業内活動への参加度、小テスト（60%） 2. TOEFLスコア（40%）</p>		
履修における留意事項	<p>【履修要件】 特になし</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。</p> <p>【テキスト・参考書等】 1. TOEFL TEST 必ずでる単 スピードマスター（Jリサーチ出版）</p> <p>その他、担当者が授業内で指示する。</p>		
連絡先とオフィスアワー	<p>【連絡先】 担当：堀 智子 E-mail：t-hori[at]juntendo.ac.jp *[at]を@に置き換えてください。</p> <p>【オフィスアワー】 日時：火曜日 昼休み 場所：1号館3階 1304室</p>		
備考			

<p>【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業30時間、予習・復習60時間の計90時間の学修を必要とする。</p> <p>【その他】 英語力の伸びを確認するためにTOEFL ITP試験を年に2回実施する。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合がある。</p> <p>授業計画 【授業内容と準備学修等】</p>			
授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（レポ -
1	堀 智子	<p>【授業内容】 ガイダンス：前期の授業内容を振り返り、後期の授業展開の概要を説明する。 アクティビティ：受講者同士のコミュニケーションを促進するための活動を行う。 【方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p>	<p>（予習：2時間） 前期に学んだ単語(Day 1 ~ Day 10)までを再度確認しておく。 （復習：2時間） 授業内で紹介した学習方法で英語のリスニングや語彙学習を行う。</p>
2	堀 智子	<p>【授業内容】 文法項目「代名詞」：代名詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 リスニング：リスニングを行い、語彙や表現を確認する。 単語テスト（Day 11 ~ Day 15）を実施する。 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p>	<p>（予習：2時間） 単語テストの準備をし、指示された課題を行う。 （復習：2時間） 単語テストで間違った部分や授業で扱った文法項目およびリスニング問題の復習をする。</p>
3	堀 智子	<p>【授業内容】 文法項目「名詞・冠詞」：名詞・冠詞の使われ方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 リスニング：キャンパスでの会話に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p>	<p>（予習：2時間） 指示された語彙テキストの範囲の単語をおぼえ、課題を行う。 （復習：2時間） 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p>

4	堀 智子	<p>【授業内容】 文法項目「前置詞・接続詞」：前置詞と接続詞の使い分けの違いを理解し、TOEFL問題で練習を行う。 リスニング：キャンパスでの会話に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> <p>【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p>	<p>(予習：2時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う</p> <p>(復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p>
5	堀 智子	<p>【授業内容】 文法項目「前置詞・接続詞」：前置詞と接続詞の使い分けの違いを理解し、TOEFL問題で練習を行う。 リスニング：住まいに関連した会話を聞き、ペアやグループで会話練習を行う。</p> <p>【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、講義やペアワークを行う。</p>	<p>(予習：2時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う</p> <p>(復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p>
6	堀 智子	<p>【授業内容】 文法項目「助動詞」：助動詞の使い方等についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 リスニング：「ビジネス」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> <p>【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p>	<p>(予習：2時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。</p> <p>(復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p>
7	堀 智子	<p>【授業内容】 文法項目「不定詞・動名詞」：不定詞・動名詞の使い分けについて理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 リスニング：「ビジネス」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> <p>【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p>	<p>(予習：2時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。</p> <p>(復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p>

8	堀 智子	<p>【授業内容】 ここまでの文法項目とリスニングを復習し、TOEFL問題で定着度を確認する。定着していない項目を再度説明し、練習を行う。</p> <p>【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p>	<p>(予習：2時間) ここまでの範囲を復習する。</p> <p>(復習：2時間) 授業で扱った文法問題の復習をする。</p>
9	堀 智子	<p>【授業内容】 文法項目「分詞」：現在分詞・過去分詞の形容詞的用法についての理解を深め、TOEFL問題で応用力をつける。 リスニング：「クリニック」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。 単語復習テスト (Day 16～20)を実施する。</p> <p>【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p>	<p>(予習：2時間) Listening テキスト Unit 12を聞いて問題を解き、単語復習テストの準備をする。</p> <p>(復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p>
10	堀 智子	<p>【授業内容】 文法項目「分詞構文」：分詞構文の意味を理解し、構文を使った書き換え練習とTOEFL問題で応用力をつける。 リスニング：「クリニック」に関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> <p>【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p>	<p>(予習：2時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。</p> <p>(復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p>
11	堀 智子	<p>【授業内容】 文法項目「分詞構文」：分詞構文の慣用表現を学び、TOEFL問題で応用力をつける。 リスニング：クラスに関連した英文のリスニングを行い、ペアやグループで会話練習を行う。</p> <p>【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p>	<p>(予習：2時間) Listening テキスト Unit 13を聞いて問題を解き、後期にカバーした単語の総復習をする。</p> <p>(復習：2時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p>
12	堀 智子	<p>【授業内容】 後期学習内容の総復習を行う。</p> <p>【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p>	<p>(予習：2時間) 指示された語彙テキストの単語をおぼえ、課題を行う。</p> <p>(復習：3時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p>

13	堀 智子	<p>【授業内容】 後期学習内容の総復習を行う。</p> <p>【授業方法】 テキスト・配布プリント等を用い、解説やペアワーク等での演習を行う。</p>	<p>(予習：2時間) 後期にカバーした単語と文法項目の総復習をする。</p> <p>(復習：3時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p>
14	堀 智子	<p>【授業内容】 後期学習内容の総復習を行う</p> <p>【授業方法】 テキストと配布プリント等を用いて講義・ペアワークを行う</p>	<p>(予習：2時間) 後期にカバーした単語の総復習をする。</p> <p>(復習：4時間) 授業で扱った文法項目やリスニング問題の復習をする。</p>
		定期試験を実施	

授業科目名	【新カリ】Basic English		授業形態	演習
英語科目名	Basic English		開講学期	半期
対象学年	2		単位数	2.0
科目責任者	Matthew Willemssen			
科目担当者				
授業概要				
<p>【授業全体の内容】 Summary of the Course 本科目は演習の授業形態で行われる。1年次で学んだ英語の基礎から発展し、レベルごとにクラス編成をし、英語4技能(Listening, Reading, Speaking, Writing)の総合的な運用能力の向上を目指す。身近な話題から発展して異文化理解、健康・医療、人権、環境など多岐にわたるトピックの英文を扱い、ロールプレイではビジネスの場面も想定して口頭や文章で意見をアウトプットする練習を行う。</p> <p>【授業の位置づけ(学位授与方針に定められている知識・能力等との関連)】 Diploma& Curricular Policies この科目はスポーツ健康科学部において「グローバル社会において連携や協働を促進するためのコミュニケーション能力とリーダーシップ」という学位授与方針の達成に寄与する。</p> <p>【授業の到達目標】 Targets 1. 英語コミュニケーション力の基礎となる語彙や文法を理解し、使うことができる。 2. 身近な話題から社会問題、ビジネスに関連した内容の英語を聞いて理解できる。 3. 身近な話題だけではなく、社会問題についても英語で表現できる。</p>				
成績評価				
<p>【成績評価の基準】 Criteria for Evaluation 1. 基本的な語彙力及び文法を身に付け、英文を正しく理解できる。 2. 身近な話題や社会問題、ビジネスのやり取りに関連する英語を聞き、英語表現、英語音声特徴を理解した上で、内容を把握できる。 3. 自分自身や身近な話題について英語で話し、書くことができる。</p> <p>【成績評価の方法】 Evaluation System 1. 提出課題(Assignment 20%) 2. 発言、ロールプレイ含む授業参加度 (Class participation 20%) 3. 定期試験 (Term Exam 60%)</p>				
履修における留意事項				
<p>【履修要件】 Conditions for taking this Course 特になし</p> <p>【課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法】 How to feedback on exams/assignments 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。</p> <p>【テキスト・参考書等】 Textbook(s) Ambitions: Intermediate VELC研究会教材開発グループ(金星堂) 教科書以外に授業内で資料を配布する。</p>				
連絡先とオフィスアワー				
<p>[連絡先] matthew[at]juntendo.ac.jp [at]を@に変えてください。</p> <p>[オフィスアワー] Office Hours 火~木 12:00~12:50 一号館3階 庄子ひとみ研究室</p>				
備考				
<p>【学修時間】 Expected study time for this course この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業30時間、予習・復習各60時間の計90時間の学修を必要とする。</p> <p>【その他】 Notes 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>				
授業計画 【授業内容と準備学修等】				

授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（レポ -
1	Matthew Willemse n	【授業内容】Class Contents オリエンテーション 【授業方法】Details 授業目的、授業方法、評価方法 等を説明する。自己学習で役立 つサイトなども案内する。 英語による自己紹介（グルー プワーク）	Assignments/Self-study （予習：2時間）Preparation 1～2分程度の自己紹介を英語で考えておく。 自分の英語力を振り返り、克服したい弱点・強化 したいポイントを整理し、自己学習法について計 画を立てる。 （復習：2時間）Review 授業内で学んだ新しい語彙表現をまとめる暗記用 の語彙ノートを作成する。
2	Matthew Willemse n	【授業内容】 Cross-Cultural Understanding 【授業方法】 テーマに沿ったパッセージを読 み、文の構造や重要語句を確認 する。その後、同テーマの内容 についてのリスニングやグルー プディスカッションを行い、自 分のコメントを英文で書く。	（予習：2時間） 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内 で指名された際には単語を調べてある状態にして おくこと。 （復習：2時間） 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記 に努める。リスニングの会話スクリプトは音声フ ァイルを参考に音読練習をする。
3	Matthew Willemse n	【授業内容】 Foods 【授業方法】 テーマに沿ったパッセージを読 み、文の構造や重要語句を確認 する。その後、同テーマの内容 についてのリスニングやグルー プディスカッションを行い、自 分のコメントを英文で書く。	（予習：2時間） 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内 で指名された際には単語を調べてある状態にして おくこと。 （復習：2時間） 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記 に努める。リスニングの会話スクリプトは音声フ ァイルを参考に音読練習をする。
4	Matthew Willemse n	【授業内容】 Foreign Language Learning 【授業方法】 テーマに沿ったパッセージを読 み、文の構造や重要語句を確認 する。その後、同テーマの内容 についてのリスニングやグルー プディスカッションを行い、自 分のコメントを英文で書く。	（予習：2時間） 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内 で指名された際には単語を調べてある状態にして おくこと。 （復習：2時間） 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記 に努める。リスニングの会話スクリプトは音声フ ァイルを参考に音読練習をする。
5	Matthew Willemse n	【授業内容】 Sports 【授業方法】 テーマに沿ったパッセージを読 み、文の構造や重要語句を確認 する。その後、同テーマの内容 についてのリスニングやグルー プディスカッションを行い、自 分のコメントを英文で書く。	（予習：2時間） 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内 で指名された際には単語を調べてある状態にして おくこと。 （復習：2時間） 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記 に努める。リスニングの会話スクリプトは音声フ ァイルを参考に音読練習をする。

6	Matthew Willemse n	<p>【授業内容】 Fashion</p> <p>【授業方法】 テーマに沿ったパッセージを読み、文の構造や重要語句を確認する。その後、同テーマの内容についてのリスニングやグループディスカッションを行い、自分のコメントを英文で書く。</p>	<p>(予習：2時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。</p>
7	Matthew Willemse n	<p>【授業内容】 Living Things</p> <p>【授業方法】 テーマに沿ったパッセージを読み、文の構造や重要語句を確認する。その後、同テーマの内容についてのリスニングやグループディスカッションを行い、自分のコメントを英文で書く。</p>	<p>(予習：2時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。</p>
8	Matthew Willemse n	<p>【授業内容】 Art</p> <p>【授業方法】 テーマに沿ったパッセージを読み、文の構造や重要語句を確認する。その後、同テーマの内容についてのリスニングやグループディスカッションを行い、自分のコメントを英文で書く。</p>	<p>(予習：2時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。</p>
9	Matthew Willemse n	<p>【授業内容】 Global Issues</p> <p>【授業方法】 テーマに沿ったパッセージを読み、文の構造や重要語句を確認する。その後、同テーマの内容についてのリスニングやグループディスカッションを行い、自分のコメントを英文で書く。</p>	<p>(予習：2時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。</p>
10	Matthew Willemse n	<p>【授業内容】 Japanese Culture</p> <p>【授業方法】 テーマに沿ったパッセージを読み、文の構造や重要語句を確認する。その後、同テーマの内容についてのリスニングやグループディスカッションを行い、自分のコメントを英文で書く。</p>	<p>(予習：2時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。</p>
11	Matthew Willemse n	<p>【授業内容】 Human Rights</p> <p>【授業方法】 テーマに沿ったパッセージを読み、文の構造や重要語句を確認する。その後、同テーマの内容についてのリスニングやグループディスカッションを行い、自分のコメントを英文で書く。</p>	<p>(予習：2時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。</p>

12	Matthew Willemse n	<p>【授業内容】 Health & Medical Issues</p> <p>【授業方法】 テーマに沿ったパッセージを読み、文の構造や重要語句を確認する。その後、同テーマの内容についてのリスニングやグループディスカッションを行い、自分のコメントを英文で書く。</p>	<p>(予習：2時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：3時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。</p>
13	Matthew Willemse n	<p>【授業内容】 Environmental Issues</p> <p>【授業方法】 テーマに沿ったパッセージを読み、文の構造や重要語句を確認する。その後、同テーマの内容についてのリスニングやグループディスカッションを行い、自分のコメントを英文で書く。</p>	<p>(予習：2時間) 指定された範囲をあらかじめ読んでおく。授業内で指名された際には単語を調べてある状態にしておくこと。</p> <p>(復習：3時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。</p>
14	Matthew Willemse n	<p>【授業内容】 まとめ</p> <p>【授業方法】 ここまでの授業内容の振り返りとポイントの確認を行う。</p>	<p>(予習：2時間) 定期試験に備え、語彙ノートを振り返り、学んだ内容を整理する。</p> <p>(復習：4時間) 定期試験に備え、語彙ノートを振り返り、学んだ内容を整理する。</p>
15	Matthew Willemse n	定期試験	なし

授業科目名	【新カリ】TOEFL・IELTS		授業形態	演習
英語科目名	TOEFL・IELTS		開講学期	半期（前期または後期）
対象学年	1		単位数	2.0
科目責任者	Matthew Willemssen			
科目担当者	Matthew Willemssen			
授業概要				
<p>【授業全体の内容】 本科目は、グローバル・スタンダードとして用いられている英語試験の一つTOEFL ITP対策を柱とすえ、留学に必要な英語力を文法、リーディング、リスニング面を中心に養成する。また、TOEFL IBTおよびIELTS受験者にも対応できるよう、スピーキングやライティングを含めたアウトプット面も強化することをめざす。</p> <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】 この科目はスポーツ健康科学部において「グローバル社会において連携や協働を促進するためのコミュニケーション能力とリーダーシップ」という学位授与方針の達成に寄与する。</p> <p>【授業の到達目標】 1．TOEFLやIELTSで求められるアカデミックな語彙や表現を理解できる。 2．基本的な文法事項や文語表現を理解し、長文読解ができる。 3．キャンパスライフやアカデミックな内容の英語を聞いて理解できる。 4．身近なテーマについて意見を話したり、書いたりできる。</p>				
成績評価				
<p>【成績評価の基準】 1. 文法を正しく理解し、TOEFLレベルのリスニングや英文読解ができる（TOEFLスコア・定期試験） 2. アカデミックな語彙や表現を理解できる（小テスト・定期試験） 3. 身近なテーマに関する自分の考えをスピーキングやライティングで表現できる（課題）</p> <p>【成績評価の方法】 1. 課題や小テスト（20%） 2. TOEFLスコア（40%）*第1回目のスコアから第2回目スコアが上昇していることが重要である。 3. 定期試験（40%）</p>				
履修における留意事項				
<p>【履修要件】 特になし</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 課題に対するフィードバックは授業内で行い、問題点の解説や強化すべき事項を明示する。</p> <p>【テキスト】 プリントや資料を配布、配信します。必要に応じて印刷して使用すること。 初回授業時に担当教員より参考図書、使用教材について指示します</p>				
連絡先とオフィスアワー				
<p>[連絡先] Contact address matthew[at]juntendo.ac.jp *[at]を@に変更してください。</p> <p>[オフィスアワー] Office hours Office hours Building 1 3'rd floor, rm1302, Tuesdays, Wednesdays and Thursdays 8:00-8:30, Wednesdays 4:20-4:45</p>				
備考				

<p>【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業30時間、予習・復習各30時間の計90時間の学修を必要とする。</p> <p>【【その他】】 英語力の伸びを確認する指標の一つとしてTOEFL ITP試験を年に2回実施する。第1回目のスコアから第2回目 が上昇していることが重要である。 科目担当者欄に記載のあるいずれかの担当者が担当する。 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>			
<p>授業計画 【授業内容と準備学修等】</p>			
授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（レポ）
1	Matthew Willemse n	<p>【授業内容】 ・オリエンテーション：授業目的、授業方法、評価方法等を説明する。 TOEFLとIELTS、そのほか代表的な英語試験の特徴について説明する。</p> <p>【授業方法】 ・簡易版TOEFL模試を実施し、弱点を知り、強化すべき項目を確認する。</p>	<p>（予習：2時間） TOEFL試験やそのほかの英語試験について調べ自分の目標スコアを設定する。</p> <p>（復習：4時間） 授業内で間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記する。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習（シャドーイング）をする。</p>
2	Matthew Willemse n	<p>【授業内容】 TOEFL模試の解説を行う。</p> <p>【授業方法】 間違いやすい問題を取り上げ、解法、文の構造や解答を説明する。</p>	<p>（予習：2時間） 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。</p> <p>（復習：2時間） 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。</p>
3	Matthew Willemse n	<p>【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク</p> <p>【授業方法】 TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで問題の解法を確認し、理解を深める。</p>	<p>（予習：2時間） 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。</p> <p>（復習：2時間） 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。</p>
4	Matthew Willemse n	<p>【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク</p> <p>【授業方法】 TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで問題の解法を確認し、理解を深める。</p> <p>【授業方法】 TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで問題の解法を確認し、理解を深める。</p>	<p>（予習：2時間） 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。</p> <p>（復習：2時間） 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。</p>
5	Matthew Willemse n	<p>【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク</p> <p>【授業方法】 TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで音読や速読練習を行う。</p>	<p>（予習：2時間） 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。</p> <p>（復習：2時間） 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。</p>

6	Matthew Willemse n	<p>【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク</p> <p>【授業方法】 TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで音読や速読練習を行う。</p>	<p>(予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。</p> <p>(復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。</p>
7	Matthew Willemse n	<p>【授業内容】 TOEFLの読解問題の特徴を解説し、実際の問題で読解練習を行う。</p> <p>【授業方法】 ペアワークで音読や速読練習を行う。</p>	<p>(予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。</p> <p>(復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。</p>
8	Matthew Willemse n	<p>【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク</p> <p>【授業方法】 TOEFL形式の問題で演習を行い、ペアワークで音読や速読練習を行う。</p>	<p>(予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。</p> <p>(復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。</p>
9	Matthew Willemse n	<p>【授業内容】 TOEFL 問題演習、グループワーク</p> <p>【授業方法】 TOEFL形式の問題で演習を行い、解説された文法項目を使って英文を作成する。</p>	<p>(予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。</p> <p>(復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。</p>
10	Matthew Willemse n	<p>【授業内容】 身近なテーマについて話す際の表現や英文の構成について解説する。</p> <p>【授業方法】 TOEFL形式の問題で演習を行い、解説された文法項目を使って英文を作成する。</p>	<p>(予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。</p> <p>(復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。</p>
11	Matthew Willemse n	<p>【授業内容】 身近なテーマについて話す際の表現や英文の構成について解説する。</p> <p>【授業方法】 TOEFL形式の問題で演習を行い、解説された文法項目を使って英文を作成する。</p>	<p>(予習：2時間) 指定された範囲の単語の予習や指定された課題を行う。</p> <p>(復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。</p>
12	Matthew Willemse n	<p>【授業内容】 ここまでの授業内容の振り返りとポイントの確認を行う。</p> <p>【授業方法】 文法項目、リスニング、読解、それぞれのポイントの理解を確認する演習を行う。</p>	<p>(予習：2時間) 指定された課題を行う。</p> <p>(復習：2時間) 間違えた箇所を確認し、語彙ノートを作成、暗記に努める。リスニングの会話スクリプトは音声ファイルを参考に音読練習をする。</p>

13	Matthew Willemse n	<p>【授業内容】 ここまでの授業内容の振り返りとポイントの確認を行う。</p> <p>【授業方法】 文法項目、リスニング、読解、それぞれのポイントの理解を確認する演習を行う。</p>	<p>(予習：2時間) 指定された課題を行う。</p> <p>(復習：3時間) 定期試験に備え、語彙ノートを振り返り、学んだ内容を整理する。</p>
14	Matthew Willemse n	<p>【授業内容】 ここまでの授業内容の振り返りとポイントの確認を行う。</p> <p>【授業方法】 文法項目、リスニング、読解、それぞれのポイントの理解を確認する演習を行う。</p>	<p>(予習：2時間) 指定された課題を行う。</p> <p>(復習：3時間) 定期試験に備え、語彙ノートを振り返り、学んだ内容を整理する。</p>
		定期試験を実施する	

授業科目名	【新カリ】フランス語		授業形態	演習
英語科目名			開講学期	半期（前期または後期）
対象学年	1	1	単位数	2.0
科目責任者	竹内 京子			
科目担当者	竹内京子			
授業概要	<p>【授業全体の内容】 本科目は、演習の授業形態で行われる。フランス語による日常的なコミュニケーションができるようになることを目標とし、会話に必要な文法事項として動詞の活用や名詞の性数、代名詞、冠詞など英語と違う点に重点を置いて学修する。ペアによるやりとりなど、口答での発表機会を数多く設ける。また、フランスを中心としてフランス語圏のスポーツやその他の文化についても学ぶ。</p> <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】 この科目はスポーツ健康科学部において「グローバル社会において連携や協働を促進するためのコミュニケーション能力とリーダーシップ」という学位授与方針の達成に寄与する。</p> <p>【授業の到達目標】 1. フランス語の日常会話のための基礎的な文法、語彙を学ぶ。 2. あいさつ、自己紹介ができるようになる。 3. 旅先での簡単な会話などができるようになる。 4. フランス語の簡単な文法を理解する。 5. フランス語が使われている国の文化、習慣、ものの考え方などについて理解する。 6. フランス語圏で行われているスポーツを知り、ルールなどを説明できるようになる</p>			
成績評価	<p>【成績評価の基準】 1. 授業で学んだ簡単な文法や表現を理解しているか。自己紹介ができ、口答で簡単な質問に答えられるか。</p> <p>【成績評価の方法】 出席は3分の2以上が条件。平常点（毎回の宿題の小テスト・課題）（40％）+学期末試験（60％）合計点の60％以上を合格とする。</p>			
履修における留意事項	<p>【履修要件】 フランス語を初めて学習する者</p> <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】 1. 初めて学ぶ言語であるので欠席せず、かつ積極的に参加することが非常に重要である。 2. 毎回の授業の予習・復習が1時間程度必要である。 3. 会話のクラスなので積極的にフランス語で話すことが大切であり、口答テストを重視する。</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 毎回、宿題と小テストまたは課題提出があり、提出された課題は添削して次の授業で返却する。訂正された場合は再提出をしてもらう。</p> <p>【テキスト・参考書等】 パスカル・オ・ジャボン 藤田裕二（白水社）</p>			
連絡先とオフィスアワー	<p>【連絡先】 担当： 竹内京子 E-mail：ktakeu@juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】 前期 月曜日10:00-10:40（1号館3階1302）</p>			
備考	<p>【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による1単位の科目であり、授業時間30時間と準備学習15時間の計45時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>【その他】 なし。</p>			

授業計画 【授業内容と準備学修等】			
授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（レポ -
1	竹内	<p>【授業内容】 授業の進め方・評価方法、あいさつ</p> <p>【授業方法】 授業の目的、シラバスの内容、評価方法、課題提出方法、教科書を説明する。</p>	<p>（予習：0.5時間） シラバスをよく読んでおく</p> <p>（復習：0.5時間） あいさつの表現を覚える</p>
2	竹内	<p>【授業内容】 0課 フランス語に親しむ</p> <p>【授業方法】 フランス語の単語を探し、意味を考えてみる。自分の名前の言い方を覚え、友達と言い合う。</p>	<p>（予習：0.5時間） 知っているフランス語を探しておく</p> <p>（復習：0.5時間） 自分の名前の綴りをアルファベットで言えるようにする</p>
3	竹内	<p>【授業内容】 1課 国籍を言う の本文と文法を学習</p> <p>【授業方法】 教科書の文法項目を理解し、実際に会話してみる。練習問題を解く。</p>	<p>（予習：0.5時間） 本文のCDを聞いておく</p> <p>（復習：0.5時間） 動詞の活用、数字1-20を読めるようにする</p>
4	竹内	<p>【授業内容】 1課 国籍を言う の練習問題を学習する</p> <p>【授業方法】 教科書の文法項目を理解し、実際に会話してみる。練習問題を解く。</p>	<p>（予習：0.5時間） 練習問題をやっておく</p> <p>（復習：0.5時間） 本文を暗記する</p>
5	竹内	<p>【授業内容】 2課 名前・職業を言う の本文と文法を学習する</p> <p>【授業方法】 教科書の文法項目を理解し、実際に会話してみる。練習問題を解く。</p>	<p>（予習：0.5時間） 本文のCDを聞いておく</p> <p>（復習：0.5時間） 職業、名前を言えるようにする</p>
6	竹内	<p>【授業内容】 2課 名前・職業を言う の練習問題を学習する</p> <p>【授業方法】 教科書の文法項目を理解し、実際に会話してみる。練習問題を解く。</p>	<p>（予習：0.5時間） 練習問題をやっておく</p> <p>（復習：0.5時間） 本文を暗記する</p>
7	竹内	<p>【授業内容】 3課 持ち物を尋ねる の本文と文法を学習する</p> <p>【授業方法】 教科書の文法項目を理解し、実際に会話してみる。練習問題を解く。</p>	<p>（予習：0.5時間） 本文のCDを聞いておく</p> <p>（復習：0.5時間） 動詞の活用を読めるようにする</p>

8	竹内	<p>【授業内容】 3課 持ち物を尋ねる の練習問題を学習する</p> <p>【授業方法】 教科書の文法項目を理解し、実際に会話してみる。練習問題を解く。</p>	<p>(予習：0.5時間) 練習問題をやっておく</p> <p>(復習：0.5時間) 本文を暗記する</p>
9	竹内	<p>【授業内容】 1課3課の復習</p> <p>【授業方法】 教科書の文法項目を理解し、実際に会話してみる。練習問題を解く。</p>	<p>(予習：0.5時間) 1課～3課の疑問点を探しておく</p> <p>(復習：0.5時間) 別冊の復習問題をやっておく</p>
10	竹内	<p>【授業内容】 4課 趣味を語る の本文と文法を学習する</p> <p>【授業方法】 教科書の文法項目を理解し、実際に会話してみる。練習問題を解く。</p>	<p>(予習：0.5時間) 本文のCDを聞いておく</p> <p>(復習：0.5時間) 本文を読めるようにする</p>
11	竹内	<p>【授業内容】 4課 趣味を語る の練習問題を学習する</p> <p>【授業方法】 教科書の文法項目を理解し、実際に会話してみる。練習問題を解く。</p>	<p>(予習：0.5時間) 練習問題をやっておく</p> <p>(復習：0.5時間) 本文を暗記する</p>
12	竹内	<p>【授業内容】 5課 誰か尋ねる の本文と文法を学習する</p> <p>【授業方法】 教科書の文法項目を理解し、実際に会話してみる。練習問題を解く。</p>	<p>(予習：0.5時間) 本文のCDを聞いておく</p> <p>(復習：0.5時間) 本文を読めるようにする</p>
13	竹内	<p>【授業内容】 5課 誰か尋ねる の練習問題を学習する</p> <p>【授業方法】 教科書の文法項目を理解し、実際に会話してみる。練習問題を解く。</p>	<p>(予習：0.5時間) 練習問題をやっておく</p> <p>(復習：0.5時間) 本文を暗記する</p>
14	竹内	<p>【授業内容】 口答テスト・4課5課の復習</p> <p>【授業方法】 個別に口答テストを行う</p>	<p>(予習：1時間) 口答のテストの課題を覚えてくる</p> <p>(復習：1時間) 口答テストの内容の復習をする</p>
		定期試験の実施	

授業科目名	【新カリ】中国語		授業形態	演習
英語科目名			開講学期	半期（後期）
対象学年	1	1・2	単位数	2.0
科目責任者	鄧 鵬宇			
科目担当者	鄧 鵬宇			
授業概要				
<p>【授業全体の内容】 本科目は、演習の授業形態で行われる。中国語という言葉の特徴を理解するとともに、中国語による日常的なコミュニケーションができるようになることを目標とする。特に中国語発音を表すための「ピンイン」という表記法及び簡単な文型を生かした日常会話を学ぶ。</p> <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】 この科目はスポーツ健康科学部において「グローバル社会において連携や協働を促進するためのコミュニケーション能力とリーダーシップ」という学位授与方針の達成に寄与する。</p> <p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、声調を含む発音を正しく発音することができる。 2、基本単語約300～400語、ピンインの読み方と綴り方を身につけ、読んだり書いたりすることができる。 3、基本文型、基本文法を理解し、読んだり書いたりすることができる。 4、日常の行動や好みについて話したり、簡単な意見（賛成、反対）を中国語で表現できる。 				
成績評価				
<p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2. 3. <p>【成績評価の方法】 課題の提出、出席状況や学習態度（60％）オンライン授業の小テスト、期末翻訳文（40％）</p>				
履修における留意事項				
<p>【履修要件】 中国語は文法がやさしく、単語も日本語と同じか似ているものが多いので、日本人には習得しやすい言語と思われるでしょう。しかし、中国語は日本語とは全く違う言語であり、同じ漢字でも発音も全然違うし、日本語にはない発音も多いため、教科書に付属の音声CDを繰り返し聞いて、発音の練習を重ね、正しい発音をマスターすること。毎回の予習、復習、どちらも音声教材を利用して、大きな声で繰り返し発音し、覚えること。</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 授業内で適宜に返却する。</p> <p>【テキスト・参考書等】 教科書、『どうちがう？似たもの中国語』 相原 茂 蘇紅 朝日出版社</p>				
連絡先とオフィスアワー				
<p>【連絡先】 担当：鄧鵬宇 E-mail：deng[at]juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】 授業終了後、随時対応する。</p>				
備考				
授業計画 【授業内容と準備学修等】				
授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（レポ-	

1		<p>【授業内容】 オリエンテーション 中国という14億人の人口がいる国とは？ 中国語とは？ 授業、試験、評価を説明する</p> <p>【授業方法】</p>	<p>(予習：90分) シラバスをよく確認しておく。中国語学習基礎Tips 1, 2に目を通しておく</p> <p>(復習：90分) 中国と中国語を知っておく</p>
2		<p>【授業内容】 発音編1 声調と母音</p> <p>【授業方法】</p>	<p>(予習：90分) 音声教材を用い、声調と母音を聞いておく</p> <p>(復習：90分) 音声教材を聞き、母音の違いを把握し正しい発音する</p>
3		<p>【授業内容】 前回の復習 発音編2 子音</p> <p>【授業方法】</p>	<p>(予習：90分) 音声教材を用い、子音を聞いておく</p> <p>(復習：90分) 音声教材を聞き、子音の違いを聞き分ける</p>
4		<p>【授業内容】 前回の復習 発音編3 鼻母音</p> <p>【授業方法】</p>	<p>(予習：90分) 音声教材を用い、鼻母音を聞いておく</p> <p>(復習：90分) 音声教材を聞き、鼻母音の違いを把握し発音しながら練習する</p>
5		<p>【授業内容】 前回の復習 発音編4 声調変化 r化 軽声 ピンインの書き取り練習 あいさつができる</p> <p>【授業方法】</p>	<p>(予習：90分) 音声教材を用い、声調変化とr化を聞いておく</p> <p>(復習：90分) 音声教材を聞き、軽声と声調変化を把握し発音しながら練習する</p>
6		<p>【授業内容】 音声復習 ピンインの書き取り練習 発音矯正 ヒヤリング、スピーキングの練習 年齢、値段、時刻、日付、曜日 数を使う日常表現ができる</p> <p>【授業方法】</p>	<p>(予習：90分) 音声教材を用い、ピンインを聞いておく</p> <p>(復習：90分) 音声教材を聞き、ピンインの綴りと声調記号を覚える。挨拶言葉をすぐ言えるように練習する</p>
7		<p>【授業内容】 第1課 新出単語 本文 語法ポイント 数字 自己紹介ができる。</p> <p>【授業方法】</p>	<p>(予習：90分) 音声教材を用い、新出単語と本文を音読し、内容を把握する</p> <p>(復習：90分) 音声教材を聞き、単語、基本表現、本文を身に付ける。似たもの言葉を覚える</p>

8		<p>【授業内容】 第2課 新出単語 本文 語法ポイント 時刻 数を使う表現ができる</p> <p>【授業方法】</p>	<p>(予習：90分)</p> <p>音声教材を用い、新出単語と本文を音読し、内容を把握する</p> <p>(復習：90分) 音声教材を聞き、単語、基本表現、本文を身に付ける。似たもの言葉を覚える</p>
9		<p>【授業内容】 第3課 新出単語 本文 語法ポイント 時量 レストランでの注文ができる</p> <p>【授業方法】</p>	<p>(予習：90分)</p> <p>音声教材を用い、新出単語と本文を音読し、内容を把握する</p> <p>(復習：90分) 音声教材を聞き、単語、基本表現、本文を身に付ける。似たもの言葉を覚える</p>
10		<p>【授業内容】 第1～3課の復習 小テスト 音声聞いて、すぐ返答をする練習 学生同士によるロールプレイング 練習問題 似たものことば</p> <p>【授業方法】</p>	<p>(予習：90分)</p> <p>音声教材を用い、第1～3課の本文を音読し、内容を把握する</p> <p>(復習：90分) 音声教材を聞き、第1～3課授業で学んだことをしっかり身に付ける。絵で見るシソーラスを覚える</p>
11		<p>【授業内容】 第4課 新出単語 本文 語法ポイント 反復疑問文 相手の状況を見て、尋ねることができる</p> <p>【授業方法】</p>	<p>(予習：90分)</p> <p>音声教材を用い、新出単語と本文を音読し、内容を把握する</p> <p>(復習：90分) 音声教材を聞き、単語、基本表現、本文を身に付ける。似たもの言葉を覚える</p>
12		<p>【授業内容】 第5課 新出単語 本文 語法ポイント 否定文 何をするかを言ったり、尋ねたりすることができる</p> <p>【授業方法】</p>	<p>(予習：90分)</p> <p>音声教材を用い、新出単語と本文を音読し、内容を把握する</p> <p>(復習：90分) 音声教材を聞き、単語、基本表現、本文を身に付ける。似たもの言葉を覚える</p>
13		<p>【授業内容】 第6課 新出単語 本文 語法ポイント 助動詞 何をどれだけできるかを説明できる</p> <p>【授業方法】</p>	<p>(予習：90分)</p> <p>音声教材を用い、新出単語と本文を音読し、内容を把握する</p> <p>(復習：90分) 音声教材を聞き、単語、基本表現、本文を身に付ける。似たもの言葉を覚える</p>

14		<p>【授業内容】 第4～6課の復習 小テスト 音声を聞いて、すぐ返答をする練習 学生同士によるロールプレイング 中国語学習基礎Tips 3, 4 似たものことば</p> <p>【授業方法】 定期試験の実施</p>	<p>(予習：90分) 音声教材を用い、第4～6課の本文を音読し、内容を把握する</p> <p>(復習：90分) 音声教材を聞き、第4～6課授業で学んだことをしっかり身に付ける。絵で見るシソーラスを覚える</p>
----	--	--	--

授業科目名	【新カリ】English Presentation		授業形態	演習
英語科目名	English Presentation		開講学期	半期（前期または後期）
対象学年	3	3、4	単位数	2.0
科目責任者	庄子 ひとみ			
科目担当者	堀 智子			
授業概要	<p>【授業全体の内容】 本科目は、演習の授業形態で行われる。1・2年次で学んだ基礎をもとにスピーキング力の強化をし、留学や海外での活動を目指す人のニーズに応える。身近な話題から社会問題についての語彙や表現を学びながら、ディカッションやスピーチを行う。また、自分の専門分野についてポスター発表やプレゼンで効果的に伝える技術を身に付ける。</p> <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】 この科目はスポーツ健康科学部において「グローバル社会において連携や協働を促進するためのコミュニケーション能力とリーダーシップ」という学位授与方針の達成に寄与する。</p> <p>【授業の到達目標】 1．身近な話題や社会問題について自分の意見を英語で表現できる。 2．プレゼンの構成、デリバリー、スライドの特徴を理解し、自分の発表に応用できる。 3．自分の専門分野について英語でポスター発表や口頭発表ができる。</p>			
成績評価	<p>【成績評価の基準】 1. 身近な問題や社会問題について自分の意見を英語で話せる（授業内課題） 2. 発表に用いられる語彙や表現を理解している（小テスト） 3. プレゼンの構成、デリバリー、スライドの特徴を理解している（授業外課題、プレゼンテーション） 4. 自分の専門分野について英語でポスター発表や口頭発表ができる（ポスター発表・プレゼンテーション）</p> <p>【成績評価の方法】 授業内・授業外課題（30%）、小テスト(20%)、ポスター発表・プレゼンテーション（50%）を総合して評価する。</p>			
履修における留意事項	<p>【履修要件】 特になし</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 課題に対するフィードバックは授業内で行い、修正箇所や復習すべき事項を明示する。</p> <p>【テキスト・参考書等】 必要な資料は授業中に適宜配布しますので、必ず用意しなければならないテキストはありません。</p>			
連絡先とオフィスアワー	<p>【連絡先】 担当：堀 智子 E-mail：t-hori[at]juntendo.ac.jp [at]を@に変えてください。</p> <p>【オフィスアワー】 日時：火曜日昼休み・4限 場所：1号館3階 1304室</p>			
備考	<p>【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業時間30時間、予習・復習30時間の計60時間の学修を必要とする。</p> <p>【その他】 この授業は、スピーキング力向上を目指すため、積極的に英語を話そうとする態度が不可欠である。</p>			
授業計画	【授業内容と準備学修等】			
授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（ホ-	

1	堀	<p>【授業内容】 ガイダンス：単位取得上の諸注意、授業概要、スピーキング練習法の説明 アクティビティ：受講者同志でコミュニケーションを促すための活動を行う。</p> <p>【授業方法】 配布プリントやウェブサイトを用いて解説し、グループでの演習を行う。</p>	<p>（予習：1時間） 英語で1分間の自己PRができるよう発音練習とパワーポイントスライドを準備する。</p> <p>（復習：1時間） 指示された課題を行う。</p>
2	堀	<p>【授業内容】 基本的な英語の音について解説する。 周囲の事物を英語で描写するための語彙や表現をとりあげる。</p> <p>【授業方法】 英語発音用ウェブサイトを用いた解説や発音練習を行う。 ペアワークやグループで状況描写の練習を行う。</p>	<p>（予習：1時間） 周囲の状況を英語で表現する練習を行う。</p> <p>（復習：1時間） 授業中で紹介したウェブサイトでの英語の発音練習とリスニング練習を行う。</p>
3	堀	<p>【授業内容】 基本的な英語のリズムについて解説を行う。 身近な問題に対して自分の意見を言う際の表現をとりあげる。</p> <p>【授業方法】 英語発音用ウェブサイトを用いた発音練習とペアワークで音読を行う。 グループで意見交換をし、グループとしての結論をまとめ、発表する。</p>	<p>（予習：1時間） 指示された英文を読み、自分の意見をまとめる。</p> <p>（復習：1時間） 授業中で紹介したウェブサイトでの英語の発音練習とリスニングと音読練習を行う。</p>
4	堀	<p>【授業内容】 基本的な英語のリズムについて解説を行う。 社会問題をとりあげ、関連した表現を学び、問題の理解を深める。</p> <p>【授業方法】 グループごとに社会問題を選び、その背景を調査し解決策を英語で話し合う。</p>	<p>（予習：1時間） 社会問題について調査し、英語で話し合う準備をする。</p> <p>（復習：1時間） 話し合った結果をまとめる。さらに社会問題に関する資料を読み、調査を行う。</p>
5	堀	<p>【授業内容】 ポスター作成に関連した英語表現について解説し、基本的な作成方法を提示する。</p> <p>【授業方法】 選んだ社会問題についてグループごとにポスターを作成する。</p>	<p>（予習：1時間） 社会問題について調査した内容を英語でまとめる。</p> <p>（復習：1時間） ポスター作成し、発表用原稿を用意する。</p>

6	堀	<p>【授業内容】 ポスター発表など口頭発表で注意すべき点を発音とデリバリーの面から解説する。</p> <p>【授業方法】 グループごとに作成したポスターを使って発表練習を行う。</p>	<p>(予習：1時間) ポスター用発表原稿の発音練習を行う。</p> <p>(復習：1時間) ポスター用発表原稿の発音練習を行う。</p>
7	堀	<p>【授業内容】 ポスター発表会の実施</p> <p>【授業方法】 グループごとにポスター発表を英語で行い、他のグループの発表を聞き、質問をする。</p>	<p>(予習：2時間) ポスター用発表原稿の発音練習を行う。</p> <p>(復習：1時間) ポスター発表で指摘された改善点をまとめる。</p>
8	堀	<p>【授業内容】 ポスター発表会の振り返り</p> <p>【授業方法】 グループごとにポスター発表を振り返り、良かった点と改善点をまとめ、発表する。</p>	<p>(予習：1時間) ポスター発表の感想と指摘された改善点について発表する準備をする。</p> <p>(復習：1時間) ポスター発表での自分の改善点を整理、対策を考える。</p>
9	堀	<p>【授業内容】 スライドを用いたプレゼンテーションの構成、デリバリー、スライドについて解説する。</p> <p>【授業方法】 ・TED Talkや学会発表のプレゼン動画を見ながらグループで効果的なプレゼンに必要な要素を考察する。 ・各学生が自分の競技や卒研テーマについてプレゼンするための、発表内容を考える。</p>	<p>(予習：1時間) 指示されたプレゼン動画を視聴する。</p> <p>(復習：1時間) 自分のプレゼン内容を考える。</p>
10	堀	<p>【授業内容】 プレゼンの構成とスライド作成について解説する。</p> <p>【授業方法】 テンプレートを活用し各自でスライドを作成し、その後ペアワークで互いのスライドを確認し合う。</p>	<p>(予習：1時間) 自分のプレゼン内容とストラクチャーを考える。</p> <p>(復習：1時間) スライドを完成させる。</p>
11	堀	<p>【授業内容】 プレゼンで発表する際に用いる表現について解説する。</p> <p>【授業方法】 モデルプレゼンの動画をみながら、表現や話し方を検討し、発表原稿を作成する。</p>	<p>(予習：1時間) スライドを使った発表原稿の下書きをする。</p> <p>(復習：1時間) 発表原稿を完成させる。</p>

12	堀	<p>【授業内容】 プレゼンテーションのための発音とデリバリーについて解説する。</p> <p>【授業方法】 グループでプレゼン発表の練習をし、互いに改善点を指摘しあう。</p>	<p>(予習：1時間) 発表原稿を覚えるくらいまで発音練習をする。</p> <p>(復習：2時間) 本番に向けプレゼンの練習をする。</p>
13	堀	<p>【授業内容】 プレゼンテーション</p> <p>【授業方法】 学会発表の形式で、一人ずつプレゼンを行い、発表後に質疑応答の時間をとる。聞き手は、プレゼンに評価をつけ、良かった点と改善点を記録する。</p>	<p>(予習：2時間) 本番に向けプレゼンの練習をする。</p> <p>(復習：1時間) クラスメートや教員からの評価をもとに、発表で達成できたことと、できなかったことをまとめる。</p>
14	堀	<p>【授業内容】 プレゼンテーションの振り返りと コース全体のまとめ</p> <p>【授業方法】 グループごとにプレゼンについて意見交換し、代表者が話題になって事を発表する。</p>	<p>(予習：1時間) 自分の今後の課題について英語で話せるように準備する。</p>
		定期試験は実施しない	

授業科目名	【新カリ】English Reading		授業形態	演習
英語科目名	English Reading		開講学期	半期（前期または後期）
対象学年	3	3、4	単位数	2.0
科目責任者	堀 智子			
科目担当者	庄子 ひとみ			
授業概要				
<p>【授業全体の内容】</p> <p>本科目は、演習の授業形態で行われる。1・2年次で学んだ基礎から発展して、就職や進学に備え、英語読解力を更に磨き、英語によって見聞を深めたい学生のニーズに応える。海外のジャーナル等も教材として幅広く用い、国際的教養を深めることも目的とする。</p> <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】</p> <p>この科目はスポーツ健康科学部において「グローバル社会において連携や協働を促進するためのコミュニケーション能力とリーダーシップ」という学位授与方針の達成に寄与する。</p> <p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英文を多読することで語彙力を増強し、精読によって英文の構造を理解する。 2. 海外の多様なトピックについて書かれた英語原文を読むことで、異文化理解を深め、グローバルな視点を育てる。 3. TOEFLやIELTSなど各種英語試験リーディング対策も意識しながら、速読など目的に応じた多様な読み方を習得する。 				
成績評価				
<p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英文の構造を理解し、辞書やインターネットを適切かつ効果的に使い、内容を正しく理解することができる。 2. 様々な英文を読む作業を通じて、豊かな語彙力を習得する。 3. 時間をかけて丁寧に複雑な英文を読み解く精読、概要を短時間で把握する速読の使い分けができるようになる。 <p>【成績評価の方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で課される翻訳課題 20% 2. 授業における発言を含めた平常点 20% 3. 内容理解についての授業内試験 60% 				
履修における留意事項				
<p>【履修要件】</p> <p>特になし</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】</p> <p>翻訳課題について授業時間内にフィードバックする。</p> <p>【テキスト・参考書等】</p> <p>World of Wonders: A Brave New World. Anthony Sellick, John Barton他著（Seibido,2019.）ISBN9784-7919-7191-6</p> <p>教科書以外に、学生の関心に応じて適宜プリントを配布する。</p>				
連絡先とオフィスアワー				
<p>【連絡先】</p> <p>担当：庄子ひとみ</p> <p>E-mail：hi-shoji@juntendo.ac.jp</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>日時：火曜日昼休み・4限</p> <p>場所：1号館3階 1332室</p>				
備考				
<p>【学修時間】</p> <p>この授業は、演習の授業形態による2単位科目であり、授業時間30時間、予習・復習30時間の計60時間の学修を必要とする。</p> <p>【その他】</p>				

授業計画 【授業内容と準備学修等】			
授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（レポート）
1	庄子	<p>【授業内容】 ガイダンス</p> <p>【授業方法】 授業の進行や教材、効果的な学習方法について説明し、学生の希望も参考にしながら追加で読む資料の提示をする。</p>	<p>（予習：1時間） 教科書全体に目を通しておく。</p> <p>（復習：1時間） 授業で紹介された参考資料やウェブサイトを参照し今後の学修に向けた準備をする。</p>
2	庄子	<p>【授業内容】 社会と文化について書かれた英文を読む。 The World of Culture and Society</p> <p>【授業方法】 英文の構造を確認しながら英文を理解する。 速読と精読の使い分けを意識しながら読む。</p>	<p>（予習：1時間） わからない単語は事前に調べておく。 課題として指定されたパラグラフを翻訳する。</p> <p>（復習：1時間） 自分の訳と比較しながら授業内で確認・修正した内容を振り返る。新しく学んだ語彙は自作の単語帳に記録し日々暗記に努める。</p>
3	庄子	<p>【授業内容】 社会と文化について書かれた英文を読む。 The World of Culture and Society</p> <p>【授業方法】 英文の構造を確認しながら英文を理解する。 速読と精読の使い分けを意識しながら読む。</p>	<p>（予習：1時間） わからない単語は事前に調べておく。 課題として指定されたパラグラフを翻訳する。</p> <p>（復習：1時間） 自分の訳と比較しながら授業内で確認・修正した内容を振り返る。新しく学んだ語彙は自作の単語帳に記録し日々暗記に努める。</p>
4	庄子	<p>【授業内容】 社会と文化について書かれた英文を読む。 The World of Culture and Society</p> <p>【授業方法】 英文の構造を確認しながら英文を理解する。 速読と精読の使い分けを意識しながら読む。</p>	<p>（予習：1時間） わからない単語は事前に調べておく。 課題として指定されたパラグラフを翻訳する。</p> <p>（復習：1時間） 自分の訳と比較しながら授業内で確認・修正した内容を振り返る。新しく学んだ語彙は自作の単語帳に記録し日々暗記に努める。</p>
5	庄子	<p>【授業内容】 科学技術について書かれた英文を読む。 The World of Science and Technology</p> <p>【授業方法】 英文の構造を確認しながら英文を理解する。 速読と精読の使い分けを意識しながら読む。</p>	<p>（予習：1時間） わからない単語は事前に調べておく。 課題として指定されたパラグラフを翻訳する。</p> <p>（復習：1時間） 自分の訳と比較しながら授業内で確認・修正した内容を振り返る。新しく学んだ語彙は自作の単語帳に記録し日々暗記に努める。</p>

6	庄子	<p>【授業内容】 科学技術について書かれた英文を読む。 The World of Science and Technology</p> <p>【授業方法】 英文の構造を確認しながら英文を理解する。 速読と精読の使い分けを意識しながら読む。</p>	<p>(予習：1時間) わからない単語は事前に調べておく。 課題として指定されたパラグラフを翻訳する。 (復習：1時間) 自分の訳と比較しながら授業内で確認・修正した内容を振り返る。新しく学んだ語彙は自作の単語帳に記録し日々暗記に努める。</p>
7	庄子	<p>【授業内容】 科学技術について書かれた英文を読む。 The World of Science and Technology</p> <p>【授業方法】 英文の構造を確認しながら英文を理解する。 速読と精読の使い分けを意識しながら読む。</p>	<p>(予習：1時間) わからない単語は事前に調べておく。 課題として指定されたパラグラフを翻訳する。 (復習：1時間) 自分の訳と比較しながら授業内で確認・修正した内容を振り返る。新しく学んだ語彙は自作の単語帳に記録し日々暗記に努める。</p>
8	庄子	<p>【授業内容】 ビジネス、経済学分野の英文を読む。 The World of Business and Economics</p> <p>【授業方法】 英文の構造を確認しながら英文を理解する。 速読と精読の使い分けを意識しながら読む。</p>	<p>(予習：1時間) わからない単語は事前に調べておく。 課題として指定されたパラグラフを翻訳する。 (復習：1時間) 自分の訳と比較しながら授業内で確認・修正した内容を振り返る。新しく学んだ語彙は自作の単語帳に記録し日々暗記に努める。</p>
9	庄子	<p>【授業内容】 ビジネス、経済学分野の英文を読む。 The World of Business and Economics</p> <p>【授業方法】 英文の構造を確認しながら英文を理解する。 速読と精読の使い分けを意識しながら読む。</p>	<p>(予習：1時間) わからない単語は事前に調べておく。 課題として指定されたパラグラフを翻訳する。 (復習：1時間) 自分の訳と比較しながら授業内で確認・修正した内容を振り返る。新しく学んだ語彙は自作の単語帳に記録し日々暗記に努める。</p>
10	庄子	<p>【授業内容】 ビジネス、経済学分野の英文を読む。 The World of Business and Economics</p> <p>【授業方法】 英文の構造を確認しながら英文を理解する。 速読と精読の使い分けを意識しながら読む。</p>	<p>(予習：1時間) わからない単語は事前に調べておく。 課題として指定されたパラグラフを翻訳する。 (復習：1時間) 自分の訳と比較しながら授業内で確認・修正した内容を振り返る。新しく学んだ語彙は自作の単語帳に記録し日々暗記に努める。</p>

11	庄子	<p>【授業内容】 国際事情、時事問題について書かれた英文記事を読む。 The World of Politics and International Relations</p> <p>【授業方法】 英文の構造を確認しながら英文を理解する。 速読と精読の使い分けを意識しながら読む。</p>	<p>(予習：1時間) わからない単語は事前に調べておく。 課題として指定されたパラグラフを翻訳する。 (復習：1時間) 自分の訳と比較しながら授業内で確認・修正した内容を振り返る。新しく学んだ語彙は自作の単語帳に記録し日々暗記に努める。</p>
12	庄子	<p>【授業内容】 国際事情、時事問題について書かれた英文記事を読む。 The World of Politics and International Relations</p> <p>【授業方法】 英文の構造を確認しながら英文を理解する。 速読と精読の使い分けを意識しながら読む</p>	<p>(予習：1時間) わからない単語は事前に調べておく。 課題として指定されたパラグラフを翻訳する。 (復習：1時間) 自分の訳と比較しながら授業内で確認・修正した内容を振り返る。新しく学んだ語彙は自作の単語帳に記録し日々暗記に努める。</p>
13	庄子	<p>【授業内容】 国際事情、時事問題について書かれた英文記事を読む。 The World of Politics and International Relations</p> <p>【授業方法】 英文の構造を確認しながら英文を理解する。 速読と精読の使い分けを意識しながら読む。</p>	<p>(予習：1時間) わからない単語は事前に調べておく。 課題として指定されたパラグラフを翻訳する。 (復習：1時間) 自分の訳と比較しながら授業内で確認・修正した内容を振り返る。新しく学んだ語彙は自作の単語帳に記録し日々暗記に努める。</p>
14	庄子	<p>【授業内容】 まとめ 授業内試験</p> <p>【授業方法】 これまでの授業内容を振り返る授業内試験を実施。その後フィードバックを行う。 今後の英語読書習慣に有用な情報を提示し、学生と相談した上で補足資料を読む。</p> <p>定期試験は行わない</p>	<p>(予習：2時間) 授業内試験に向けて、これまでに学んだ内容を整理し確認する。</p> <p>(復習1時間) これまでに記録してきた語彙ノートを整理し、課題や授業内試験でのフィードバックを振り返る。今後の英語読書習慣の確立に向けて計画を立てる。</p>

授業科目名	【新カリ】日本国憲法		授業形態	講義・単独
英語科目名			開講学期	講義・単独
対象学年	1	1	単位数	2.0
科目責任者	池田 良彦			
科目担当者	池田良彦			
授業概要	<p>【授業全体の内容】 憲法を学ぶ意義は、主権者である国民が政治のあり方を最終的に決定する力をもっていることにあるといえる。日本国憲法が制定（1947年5月3日）されてから70年が過ぎたが、その間に国際情勢が変化し、日本が少なからず影響を受けながらどのようにかわってきたのかは、この間の日本の歴史を見れば明確であり、今後わが国の対応が注目されることになる。憲法は、国家の基本法であり、国の制度や国の運営の方法について定められたもので、主権者である国民はこの憲法についての基本的な知識をもつことが必須条件といわなければならない。昨年、選挙権は18歳からと公職選挙法の改正が行われたが、大学生の皆さんは、政治に関心を持つことが必要不可欠ということになった。この授業では103カ条から成る日本国憲法の基本的な考え方を習得し、是非とも憲法問題に関心を示していただくことを念頭に置き授業を進めていきたい。</p> <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】 この科目は「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」という学位授与方針の達成に寄与する。</p> <p>【授業の到達目標】 憲法問題は、連日のようにマスコミが採り上げているが、そこでの議論に理解を示し、自分の意見を論じることができるようになることを目標とする。</p>			
成績評価	<p>【成績評価の基準】 定期的にレポートの提出をもとめ、次の三点を評価の対象とする。 テーマに対する理解度、 問題点の説明、 自説の展開</p> <p>【成績評価の方法】 レポートの評価（50%）と定期試験（50%）</p>			
履修における留意事項	<p>【履修要件】 特になし。</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 レポート提出日の次の授業の時に解説する。</p> <p>【テキスト・参考書等】 テキストはとくに指定しないが、憲法の条文は準備すること。（六法を購入する必要はないが、憲法の条文は必要。）</p>			
連絡先とオフィスアワー	<p>【連絡先】 担当：池田良彦 E-mail：：ysikedada[at]df.catv.ne.jp [at]を@に変換してください</p> <p>【オフィスアワー】 日時：毎週月曜日の2時間目の時間 場所：講師室の部屋</p>			
備考	<p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業時間30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。</p> <p>【その他】 中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（中学校及び高等学校 保健体育） 施行規則に定める科目区分又は事項等：日本国憲法</p>			
授業計画	【授業内容と準備学修等】			
授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（レポート）	

1	池田	<p>【授業内容】 テーマ：日本国憲法制定の過程を説明する。大日本帝国憲法と日本国憲法との違いを比較し、講義を進める。 【授業方法】 講義形式でおこなう。</p>	<p>(予習：3時間) 1945年(昭和20年)8月15日の終戦が日本史の上でどのような状況にあったのかを高校時代の日本史の教科書で確認しておくこと。 (復習：1時間) 配布資料をよく読むこと。</p>
2	池田	<p>【授業内容】 テーマ：天皇制について 「皇室典範」により天皇制が法的に位置づけられているが、今後の天皇制についての問題点を考える。 【授業方法】 配布資料を用いて講義をおこなう。</p>	<p>(予習：3時間) 天皇の退位問題が話題となっているが、現行法上ではどのように考えられているのか調べておくこと。 (復習：1時間) 配布資料をよく読むこと。</p>
3	池田	<p>【授業内容】 テーマ：日本国憲法9条の戦争放棄条項について わが国の政府は、9条に関する見解を日米安保条約との関係で解釈を変更してきたが、その主旨を説明し問題点を考える。 【授業方法】 配布資料を用いて講義をおこなう。</p>	<p>(予習：3時間) 憲法9条問題を理解するためには、日米安保条約についての理解が必須であり、条約の趣旨を理解しておくこと。 (復習：1時間) 配布資料をよく読んで、憲法と条約の関係を理解すること。</p>
4	池田	<p>【授業内容】 テーマ：憲法9条に関する司法解釈について 最高裁の砂川判決を資料として使い説明する。 【授業方法】 配布資料を用いて講義をおこなう。</p>	<p>(予習：3時間) 憲法問題は、政治的判断と、憲法上の法解釈とが異なることがあり、その違いを調べて理解しておくことが必要である。 (復習：1時間) 配布資料を熟読し、政治的判断と法的判断との違いを理解すること。</p>
5	池田	<p>【授業内容】 テーマ：基本的人権の基礎を学ぶ。 基本的人権は自由権から始まり、生存権へと発展していくがその基本的な考え方の違いについて理解する。人権の歴史を紹介する。 【授業方法】 配布資料を用いて講義をおこなう。</p>	<p>(予習：3時間) 人権の歴史は古く、1215年のイギリスのマグナカルタにはじまり、以降1776年のアメリカの独立宣言、1789年のフランス革命があり、その歴史的な背景を理解しておくこと。 (復習：1時間) 配布資料をよく読んで人権のルーツを理解する。</p>
6	池田	<p>【授業内容】 テーマ：三権分立の意義 民主主義の根幹である国の制度のあり方について学ぶ。 【授業方法】 配布資料を用いて講義をおこなう。</p>	<p>(予習：3時間) モンテスキューの「法の精神」によって三権分立が説かれたのでその考え方を調べて欲しい。 (復習：1時間) 配布資料を熟読して理解を深めて欲しい。</p>

7	池田	<p>【授業内容】 テーマ：憲法13条の「個人の尊重」について プライバシーの権利は、一世紀前の時代から、現在の権利に至るまでの歴史画あり、その発展過程を理解してほしい。</p> <p>【授業方法】 配布資料を用いて講義をおこなう。</p>	<p>(予習：3時間) 個人の尊重はプライバシーの権利としてアメリカで発展してきた権利であり、この権利について調べて理解をして欲しい。</p> <p>(復習：1時間) 配布資料を読んで理解して欲しい。</p>
8	池田	<p>【授業内容】 テーマ：憲法14条の「法の下の平等」について 人種差別問題をはじめ、今日では平等概念が広く主張されるようになったのでその情報を提供する。</p> <p>【授業方法】 配布資料を用いて講義をおこなう。</p>	<p>(予習：3時間) 平等概念はアメリカで発展してきた権利であり、新しい平等概念についても理解を深めて欲しい。</p> <p>(復習：1時間) 平等問題は広く議論されているので、資料を読んで理解を深めて欲しい。</p>
9	池田	<p>【授業内容】 テーマ：思想、良心の自由、表現の自由 表現の自由をはじめ、人間には生まれながらにして自由が付与されていることを理解する必要があることを説明する。</p> <p>【授業方法】 配布資料を用いて講義をおこなう。</p>	<p>(予習：3時間) 思想や表現の自由は、人間に与えられた基本権であり、国家によって制限されるものではないが、世界には表現の自由が厳しく制限されている国家があり、そのような事情を調べて欲しい。</p> <p>(復習：1時間) 配布資料をよく読んで欲しい。</p>
10	池田	<p>【授業内容】 テーマ：刑事被告人の権利について わが国の司法制度について説明をする。</p> <p>【授業方法】 配布資料を用いて講義をおこなう。</p>	<p>(予習：3時間) 裁判における被告人の権利について調べて欲しい。</p> <p>(復習：1時間) 資料を熟読して司法制度の理解を深めて欲しい。</p>
11	池田	<p>【授業内容】 テーマ：市民参加型の刑事裁判について 世界の裁判制度について、陪審制(英米)、参審制(ヨーロッパ大陸)を比較して説明する。</p> <p>【授業方法】 配布資料を用いて講義をおこなう。</p>	<p>(予習：3時間) 裁判員制度の導入により国民が裁判に関心を持つ機会が多くなったがその問題点を調べてほしい。</p> <p>(復習：1時間) 配布資料を読んで理解を求めろ。</p>
12	池田	<p>【授業内容】 テーマ：立法権、行政権について 立法権、行政権に関わる国民の立場から、どのような参加ができるのか説明する。</p> <p>【授業方法】 配布資料を用いて講義をおこない、グループで意見交換を行う。</p>	<p>(予習：3時間) 国民の権利および義務の中心は、主権者として政治にどのようにかかわるのが重要であり、この問題について積極的に意見を求めたい。</p> <p>(復習：1時間) 配布資料を読んで理解を求めろ。</p>

13	池田	<p>【授業内容】 テーマ：憲法改正手続きについて 現行憲法には、改正に関する手続きが明確に示されていない。今後でてくる議論であるので、学生の皆さんにも積極的に考えて欲しい。</p> <p>【授業方法】 配布資料を用いて講義をおこない、グループで意見交換を行う。</p>	<p>(予習：3時間) わが国では憲法改正論議が盛んであるが、一国民としてこの問題をどのように考えるのかを問いたい。</p> <p>(復習：1時間) 憲法改正について、あなたはどのように考えるかを議論して欲しい。</p>
14	池田	<p>【授業内容】 テーマ：憲法論のまとめ これまで扱ったテーマについて質疑を受ける。</p> <p>【授業方法】 配布資料を用いて講義をおこなう。</p> <p>定期試験</p>	<p>(予習：3時間) これ まで扱ったテーマについて、憲法論として纏め、質問があったら申し出ること。</p> <p>(復習：5時間) 配布資料を読んで理解を求める。</p>

授業科目名	【新カリ】文章表現法		授業形態	講義
英語科目名			開講学期	半期（前期または後期）
対象学年	1	1	単位数	2.0
科目責任者	大野 早苗			
科目担当者	大野早苗			
授業概要	<p>【授業全体の内容】 本科目は、講義の授業形態で行われる。文章には様々なジャンルがあるが、本講義では、レポートなどの学術的な文章に適した文体、構成、適切な引用のための技術などを学び、書く力を養成する。毎回の授業は、学習項目の説明、練習、課題作文の作成というサイクルで進められる。課題作文は200から300字程度の短いものから始め、最終的には1500字程度の長さでまとめた内容のものが書けることを目指す。</p> <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】 この科目は「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」という学位授与方針の達成に寄与する。</p> <p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 適切な書式を用いて整った文書を作成することができる。 2. 適切な表記方法を用いて書くことができる。 3. レポートや論文などの学術的な文章に適した文体で書くことができる。 4. レポートや論文などの学術的な文章に適した論理展開で書くことができる。 5. 適切な引用方法やデータの提示方法がわかる。 			
成績評価	<p>【成績評価の基準】 【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各回で学んだこと（書式、表記、文体、展開等）に沿って書ける。（課題作文） 2. 各回で学んだことを総合してまとまりのある文章が書ける。（定期試験） <p>【成績評価の方法】 平常点（課題作文および模擬レポートの提出）50%、期末試験50%の割合で評価する。</p>			
履修における留意事項	<p>【履修要件】 指定されたクラスで履修すること。</p> <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】 配布プリント、および、自分の書いた課題作文を、いつでも参照できる状態で保管するためのファイル（A4サイズ）を準備すること。</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 提出物は、添削、評価して次回の授業時に返却する。返却時に、評価基準を説明するとともに、必要に応じて修正や書き直しの時間を設ける。 定期試験については、Juntendo Passportを使って解説する。</p> <p>【テキスト・参考書等】 テキストは使用せず、配布プリントを用いて講義を進める。以下の1～3は、さらに発展的に学ぶための参考書である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大修館書店編集部編(2012)『大修館 最新国語表記ハンドブック』大修館書店 2. 二通信子・大島弥生・佐藤勢紀子・因京子・山本富美子(2009)『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』東京大学出版会 3. 大島弥生・池田玲子・大場理恵子・加納なおみ・高橋淑郎・岩田夏穂(2014)『ピアで学ぶ大学生の日本語表現 第2版 プロセス重視のレポート作成』ひつじ書房 			
連絡先とオフィスアワー				

<p>【連絡先】 担当： 大野早苗 E-mail： sanaeo[at]juntendo.ac.jp [at]を@に変更してください。 【オフィスアワー】 日時：木曜日12:20～14:00 場所：1号館3階1336号室</p>			
<p>備考</p>			
<p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p>			
<p>【その他】 特になし。</p>			
<p>授業計画 【授業内容と準備学修等】</p>			
授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（レポート）
1	大野	<p>【授業内容】 テーマ：わかりやすい文章を書くために、どのような知識や技能が必要かを理解する。</p> <p>【授業方法】 話し言葉と書き言葉の違いについて解説する。その後、学生同士ペアになり、与えられた課題をもとに互いの書いた文章を読み合う。</p>	<p>（予習：1時間） シラバス全体に目を通し、授業の目的と進め方を確認しておく。</p> <p>（復習：3時間） 授業中に指示されたテーマ、字数で作文を書く。</p>
2	大野	<p>【授業内容】 テーマ：見やすい文書を作成するための基礎として、原稿用紙の使い方を覚える。読みやすい（見やすい）文を書くために、漢字、平仮名、片仮名の使い分けのルールを知る。</p> <p>【授業方法】 原稿用紙の使い方、表記のルールを説明する。説明されたルールに則って、前回の復習として書いた作文を見直し、書式、表記を整える練習をする。</p>	<p>（予習：1.5時間） インターネットの情報などを利用して、原稿用紙の基本的な使い方を確認する。参考図書『大修館 最新国語表記ハンドブック』などを参考に、文字・表記の基礎について確認する。</p> <p>（復習：2.5時間） 課題文をレポートらしい書式、表記で書き直す（課題文は授業中に示す）。</p>
3	大野	<p>【授業内容】 テーマ：日本語の文章にはさまざまな文体があることを知る。レポートや論文などに適した文体を知る。</p> <p>【授業方法】 日本語の文体、特に常体と敬体の使い分けについて解説する。話し言葉から書き言葉へ、敬体から常体への書き換える練習問題をやる。学生同士ペアになって、練習問題を互いにチェックする。</p>	<p>（予習：1時間） 大学で書くレポートにはどのような文体がふさわしいかを調べる。</p> <p>（復習：3時間） 課題文をレポートらしい文体に書き換える（課題文は授業中に示す）。</p>

4	大野	<p>【授業内容】 テーマ：文の構造を意識して、正確な文を書く。</p> <p>【授業方法】 いわゆる「ねじれ文」や陳述の副詞と文末の呼応の誤りなど、間違いやすい文法項目を確認する。 誤文訂正などの練習問題を解くことを通して、正しく文を書く習慣を身に付ける。</p>	<p>(予習：1時間)</p> <p>文化庁による国語に関する世論調査などから、誤用が増えた表現や意味の変化が見られる表現についての知識を得る。 http://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/kokugo_yoronchosa/index.html</p> <p>(復習：3時間) 授業時間内に解いた練習問題を見直し、文法に関する知識の定着を図る。</p>
5	大野	<p>【授業内容】 中心文、支持文という区別を用いることによって段落内の構成を整える方法を知る。 テーマ：中心文、支持文とはどのようなものか解説する。</p> <p>【授業方法】 実際に文章を読み、文中のそれぞれの段落の中のどの文が中心文か、また、どのような支持文が用いられているかを確認する。 中心文、支持文を意識して、短い説明文を書く練習をする。その後、学生同士のペアで書いたものを交換し、わかりやすさをチェックする。</p>	<p>(予習：1時間)</p> <p>新聞や雑誌、教科書等、身の回りにある文書を読み、どのように段落分けがなされているかを確認する。</p> <p>(復習：3時間) 与えられたテーマについて、中心文と支持文を明確にして、自分の意見を述べた文を書く。</p>
6	大野	<p>【授業内容】 テーマ：文章を書くときの情報整理の仕方を練習する。</p> <p>【授業方法】 自分が参加した、あるいは観戦した試合や競技大会などの結果を報告するために必要な情報は何かを考え、メモを作成する。学生同士ペアになって、互いのメモを読み合い、情報に過不足がないか確認する。</p>	<p>(予習：1時間)</p> <p>報告の文章の題材とできるように、試合や競技会などのデータをできるだけ整理して準備する。</p> <p>(復習：3時間) 授業中に整理した情報をもとに、報告の文章を書く。</p>
7	大野	<p>【授業内容】 テーマ：他者の言説を引用して書く方法を学ぶ。</p> <p>【授業方法】 書籍や論文などについての情報(著者、発表年、出版社など)をどのようにして得るかを知る。 引用する際に必要な情報を示す練習をする。 実際に引用文を書いてみる。</p>	<p>(予習：1時間)</p> <p>参考図書『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』pp.69-75を参考に、引用の方法の基本を理解する。</p> <p>(復習：3時間) 自分の意見と他者の言説の区別に注意して、引用を含む意見文を書く。</p>

8	大野	<p>【授業内容】 テーマ：前時に引き続き、引用を含む文章の書き方を学ぶ。</p> <p>【授業方法】 引用するときによく用いられる文型を使って引用の練習をする。 実際に読んだ本から印象に残ったフレーズを引用した短文を書く。学生同士ペアになって短文を交換し、引用部分の示し方が適切か確認する。</p>	<p>(予習：1時間)</p> <p>引用を含む文章を書く準備として、興味のあるテーマについて書かれた文献を2つ以上探しておく。</p> <p>(復習：3時間) 興味のあるテーマについて2つ以上の言説を引用し、それらの差異について論じる文章を書く。</p>
9	大野	<p>【授業内容】 テーマ：文中でデータ(数値)を紹介するには、どのようなことに気をつけて書けばよいかを理解する。</p> <p>【授業方法】 データを紹介するときに必要な情報は何かを考える。 データの説明をするときによく用いられる文型を使って、実際にデータを説明する文を書く練習をする。</p>	<p>(予習：1時間)</p> <p>興味のある競技の試合結果などの記録や報道を、データの示し方に注意して読む。</p> <p>(復習：3時間) 予習の際に読んだ報道の1つを取り上げ、そこに示されたデータを引用しながら自分の考えを述べる文章を書く。</p>
10	大野	<p>【授業内容】 テーマ：自分で取ったデータを説明する方法を知る。</p> <p>【授業方法】 調査や実験で得たデータを説明する際に必要な情報は何かを考える。 クラス内で実際に「ミニ調査(例：読書状況調査など)」を行う。その結果を整理し、他者に調査の概要と結果を伝えるには何を書けばよいかを考える。</p>	<p>(予習：1時間)</p> <p>興味のある競技や調査の記録集、報告等を読み、データがどのような手順で紹介されているかを確認する。</p> <p>(復習：3時間) クラス内で行った「ミニ調査」の結果を報告する文章を書く。</p>
11	大野	<p>【授業内容】 テーマ：筋の通った文章を書くためには、何をどのような順序で述べればよいかを理解する。</p> <p>【授業方法】 論の構成要素にはどのようなものがあるかを考える。特に、データを用いて主張の理由づけをするには何に気をつけないか注目する。 与えられたテーマについて自分の考えをまとめる。その後、学生同士ペアになって考えを述べ合い、説得力があるか、どのような述べ方をすればよいか、足りない情報はないか等を互いに指摘し合う。その指摘をもとに、自分の考えを意見文としてまとめるための構成メモを作成する。</p>	<p>(予習：1時間)</p> <p>授業で取り上げるトピックを前もって告知するので、それについて新聞や雑誌、インターネットなどで情報を収集する。</p> <p>(復習：3時間) 講義時間に作成した構成メモをもとに意見文を書く。</p>

12	大野	<p>【授業内容】 テーマ：大学で書くレポートにはどのようなタイプがあるかを知り、それぞれのタイプの基本的な構成を知る。</p> <p>【授業方法】 レポートのタイプと基本的な構成について解説する。 サンプルレポートを読んで、その構成を書き出してみる。 与えられたテーマでレポートを書くとするば、どのような準備が必要かを学生同士のペアで話し合う。</p>	<p>(予習：1時間)</p> <p>参考図書『ピアで学ぶ大学生の日本語表現 第2版 プロセス重視のレポート作成』を参考に、レポートを書くプロセスを確認しておく。</p> <p>(復習：3時間) 授業で用いたサンプルレポートをもう一度よく読み、全体の構成を確認する。</p>
13	大野	<p>【授業内容】 テーマ：模擬レポートを作成する。</p> <p>【授業方法】 レポートや論文などでよく用いられる表現形式を紹介する。 前時の構成メモをもとに、表現に気をつけて模擬レポートを作成する。</p>	<p>(予習：3時間)</p> <p>模擬レポートを作成する準備として、与えられたテーマについて、情報収集をする。</p> <p>(復習：4時間) 講義時に書いた模擬レポートを読み直し、わかりにくい点はないか、書かれた情報に過不足はないかを点検する。</p>
14	大野	<p>【授業内容】 テーマ：模擬レポートを推敲し、修正する。</p> <p>【授業方法】 前時に書いた模擬レポートを学生同士のペアで交換し、互いのレポートを読む。コメントカードに感想や意見、修正案等を書く。コメントカードを参考に模擬レポートを書き直す。</p>	<p>(予習：1時間)</p> <p>参考図書『ピアで学ぶ大学生の日本語表現 第2版 プロセス重視のレポート作成』などを参考に、書くことをピア(学生同士のペア等)で行う意味を考える。</p> <p>(復習：4時間) 推敲前の模擬レポートと修正後の模擬レポートを見比べ、どのような点をペアの学生から指摘され、どのように修正したのかを整理する。</p>
	大野	定期試験の実施	

授業科目名	【新カリ】新しい世界を拓いた人々		授業形態	講義
英語科目名			開講学期	前期
対象学年	1		単位数	2.0
科目責任者	田中 和廣			
科目担当者	田中 和廣、廣津 信義、藤倉 ひとみ、馬場 猛、志村 絵理、矢田 雅哉、室伏 由佳、庄子 ひとみ、服部 信孝、井上 洋士			
授業概要				
[授業全体の内容] 医学部、スポーツ健康科学部、医療看護学部の3学部の学生を対象として、共通開講する一般教養の選択科目です。本学の全ての学部の一般教養担当教員を中心とした7名の教員が、それぞれの専門とする分野からインパクトのある話題、興味深い話題を選び、わかりやすく紹介します。特に、各分野に貢献した人物を糸口にして、分野の発展におけるターニング・ポイントにスポットを当てるほか、現在注目を浴びているホットな話題も取り上げます。				
[授業の位置づけ(学位授与方針に定められた知識・能力等との関連)] この科目は「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」という学位授与方針の達成に寄与する。				
[授業の到達目標] 1. 人文科学から自然科学に至るまで、幅広い様々な内容に関心を持つことができる。 2. 所属学部にとらわれることなく他学部の学生とも積極的に交流して意見を交換できる。 3. 物事を様々な視点から考えることができる。 4. チームでの討論を通して、問題点を掘り下げその解決策を提案することができる。 5. 自分の意見をわかりやすく具体的に述べ、簡潔な文でまとめることができる。				
成績評価				
[成績評価の基準] 評価は、各回の授業での提出物(グループ・ディスカッションの内容のまとめ、自分の意見をまとめた感想文、その他提出課題)により到達目標1~5の達成度と、授業態度、グループ・ディスカッションへの参加態度を総合的に判定します(平常点)。				
[成績評価の方法] 授業の各回を担当の教員が10点満点で採点し、合計点を100点満点に換算して最終結果とします。				
履修における留意事項				
[履修要件] 対象：医学部、スポーツ健康科学部、医療看護学部の1年生(ただし、スポーツ健康科学部は2年生以上も履修できます。)				
[履修上の注意(科目独自のルール)] 受講希望者多数の場合は、抽選をすることもあります。				
[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] グループ・ディスカッションの内容を発表して全体で議論したり、各回の授業での提出物から解答例・感想の例をピックアップして紹介し、フィードバックする機会があります。				
[テキスト・参考書等] テキストは使用しません。適宜、プリントなどを使用することがあります。 参考書等は、授業の際に適宜紹介します。				
連絡先とオフィスアワー				

[担当者の連絡先とオフィスアワー]
 担当： 田中和廣
 E-mail： kztanaka[at]juntendo.ac.jp （[at] を@に変更してください）
 日時： 前期期間中の木曜日9:00から15:00
 場所： さくらキャンパス1号館3階1314室

担当： 廣津信義
 E-mail： nhirotsu[at]juntendo.ac.jp （[at] を@に変更してください）
 日時： 前期期間中の火曜日13:00から14:30
 場所： さくらキャンパス1号館3階1327室

上記の時間帯には、予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生の相談時間とかち合わないようにするため、できるだけ前日までにE-mailで予約してください。 質問や相談は予約のあった学生を優先します。

備考

[学修時間]
 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。

[その他]
 3学部の学生が混合するようにグループを作り、グループ・ディスカッションをする時間を授業の中に設ける予定です。コミュニケーション能力、リーダーシップ、協調性を高め、ディスカッションに積極的に取り組めるよう準備をしておくこと。
 良い、悪い、驚いた等と感じたことがどの点であるかを、具体的に述べ簡潔な文でまとめられるようにしておくこと。
 自分の意見をわかりやすくまとめて述べられるようにしておくこと。
 通り一遍の意見にならないよう、自分の意見を掘り下げ深めようとする習慣をつけること。
 理路整然とした筋の通った文章を書く訓練をしておくこと。
 これらについて常日頃から意識して心掛け、身に付けるよう努めることが大切である。
 また、この授業で登場する“新しい世界を拓いた人々”のエピソードや、授業のグループ・ディスカッションを通して自分の仲間たちの考え方からも学び、21世紀を生きていくために自分にとって不可欠な教養にどんなものがあるか考え、それらを大学生活および生涯にわたってどう学習していくか計画をたて実行に移していく。
 なお、新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。

授業計画 【授業内容と準備学修等】

授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（レポート）
1	田中 廣津 藤倉 馬場	<p>[授業内容] テーマ：4学部共通講座ガイダンス</p> <p>[授業方法] 授業の進め方とスケジュール、受講者の心構えについて解説し、グループ・ディスカッションのグループ分けを行う。</p> <p>[キーワード] ・グループ・ディスカッション ・グループ・リーダー、成績評価の方法</p>	<p>（予習：2時間） グループ・ディスカッションの進め方について検索し自己学習してくること。 （復習：1時間） 受講者の心構えと成績評価の方法を確認し、ディスカッション・リーダー等の次回の役割分担をまとめておくこと。</p>

2	馬場	<p>[授業内容] テーマ：自己とは何か ～免疫というシステム～</p> <p>[授業方法] ジェンナーに始まる免疫学の歴史をひも解き、免疫とは何か、自己とは何か、を議論する。</p> <p>[キーワード] ・天然痘、二度なし現象 ・ワクチン、抗毒素（抗体）、自己と非自己</p>	<p>（予習：1時間半） 免疫という言葉から連想される事象を考えておくこと。</p> <p>（復習：1時間半） 免疫学の歴史について復習し、先人たちがいかに知恵を絞ったか、考えを巡らせよう。</p>
3	志村	<p>[授業内容] テーマ：見えない世界を開拓した人々（1）</p> <p>[授業方法] 次の事項を議論する： ・微生物の発見、微生物はどこから来るのか ・病気と微生物</p> <p>[キーワード] ・顕微鏡、細菌、ウィルス、免疫</p>	<p>（予習：1時間半） 微生物という言葉から連想される事象を考える。</p> <p>（復習：1時間半） 微生物がどのように見出されてきたか復習し、先人達の発見とその経緯を考える。</p>
4	志村	<p>[授業内容] テーマ：見えない世界を開拓した人々（2）</p> <p>[授業方法] 次の事項を議論する： ・抗生物質の発見 ・微生物の役割</p> <p>[キーワード] ・ペニシリン、リゾチーム、細菌嚢</p>	<p>（予習：1時間半） 抗生物質について調べる。</p> <p>（復習：1時間半） 微生物学の歴史における様々な発見を復習し、微生物の役割とは何か考える。</p>
5	矢田	<p>[授業内容] テーマ1：科学と研究の歴史 テーマ2：重力の発見</p> <p>[授業方法] 次の事項を議論する： ・物理学って難しい？ ・中世の宇宙観</p> <p>[キーワード] ・自然哲学、物理学 ・ニュートン、ガリレオ、重力</p>	<p>（予習：1時間半） 科学の始まりはいつだったのか、調べてまとめておく。</p> <p>（復習：1時間半） ニュートンやガリレオが当時どのような考え方をしていたのか自分なりにまとめておく。</p>

6	矢田	<p>[授業内容] テーマ1：20世紀の物理 テーマ2：21世紀の科学</p> <p>[授業方法] 次の事項を議論する： ・アインシュタインの登場 ・未来の科学はどうなっているだろう？</p> <p>[キーワード] ・アインシュタイン、相対性理論、量子力学 ・科学の分類、スーパーコンピュータ、AI</p>	<p>(予習：1時間半) アインシュタインの研究はどのようなものか調べておく。 (復習：1時間半) ニュースで報道される新技術がどのように活用されるのか自分なりに考え直す。</p>
7	室伏	<p>[授業内容] テーマ：ドーピング、アンチ・ドーピングムーブメントとは？</p> <p>[授業方法] 次の事項を議論する： ・ドーピングの歴史 ・アンチ・ドーピング・ムーブメント</p> <p>[キーワード] ・ドーピング、世界アンチ・ドーピング規程(Code) = ルール規則違反、禁止物質・禁止方法 ・スポーツ・ルール、スポーツの価値、スポーツインテグリティ、アスリートの責務</p>	<p>(予習：1時間半) ドーピングとアンチ・ドーピングムーブメントについて、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のサイトなどを用い調べる。 www.playtruejapan.org/</p> <p>(復習：1時間半) ドーピングの歴史とアンチ・ドーピングムーブメントについて整理する。</p>
8	室伏	<p>[授業内容] テーマ：未来に向けたアンチ・ドーピング教育を考える</p> <p>[授業方法] 次の事項を議論する： ・アンチ・ドーピング規則違反の事例 ・スポーツの価値を護るムーブメント</p> <p>[キーワード] ・国家ぐるみの違反、サプリメントによる違反 ・スポーツの未来、i-play true relay、高い倫理観</p>	<p>(予習：1時間半) 近年起こったロシアによる国家ぐるみのドーピングや、国内のサプリメントによる違反例について調べる。 (復習：1時間半) 未来のスポーツを守るために、これからの時代に求められる競技参加のためのリテラシーについて検討しまとめる。</p>

9	庄子	<p>[授業内容] テーマ：ヴィクトリア朝の英文学と芸術思潮</p> <p>[授業方法] 次の事項を議論する： ・ワイルドとピアズリーのサロメ</p> <p>[キーワード] ・英文学、ヴィクトリアニズム、唯美主義、リメイキングと模倣</p>	<p>(予習：1時間半) 複数の邦訳が出版されているワイルド著『サロメ』について簡単に調べておく。 (復習：1時間半) 講義とディスカッションを経て、自分の解釈の変化を振り返る。</p>
10	庄子	<p>[授業内容] テーマ：世紀転換期の英文学と芸術</p> <p>[授業方法] 次の事項を議論する： ・コスモポリタンの条件：カント、デリダ、バーバ ・コスモポリタンの文学：ラスキン、ジェームズ、シモンズ</p> <p>[キーワード] ・帝国主義、オリエンタリズム、コスモポリタニズム</p>	<p>(予習：1時間半) コスモポリタンという言葉が示す人物像やコスモポリタニズムの定義について調べておく。 (復習：1時間半) コスモポリタンと評された作家たちの文章を再読し、差異を理解する。</p>
11	服部	<p>[授業内容] テーマ1：パーキンソン病の研究の歴史 テーマ2：パーキンソン病研究の未来</p> <p>[授業方法] 次の事項を議論する： ・パーキンソン病研究の歴史 ・パーキンソン病の原因究明そして進行阻止治療の開発</p> <p>[キーワード] ・パーキンソン病、レヴィ小体、震顫麻痺、レボドパ ・パーキンソン病、遺伝性パーキンソン病、 - シヌクレイン、蛋白伝播</p>	<p>(予習：1時間半) パーキンソン病の臨床、治療の歴史について調べておく。 (復習：1時間半) パーキンソン病の最新の治療と疾患修飾療法的重要性を考える。</p>
12	井上	<p>[授業内容] テーマ：エイズ対策を進めていった人々(初期～中期)</p> <p>[授業方法] 次の事項を議論する ・ウイルス発見から治療薬開発 ・日本国内の医療体制整備と予防体制</p> <p>[キーワード] ・HIV、ウイルス、HAART ・エイズ診療拠点病院、薬害エイズ、身体障害者手帳、保健所</p>	<p>(予習：1時間半) エイズあるいはHIV感染症というものがどういう疾患であるのかを調べておく。 (復習：1時間半) 日本ではどのような医療体制整備がなされているのか、自身の住んでいる地域を軸に具体的に調べてみる。</p>

13	井上	<p>[授業内容] テーマ：エイズ対策を進めていった人々（現在～将来に向けて）</p> <p>[授業方法] 次の事項を議論する： ・U=Uなど社会面での対策整備 ・コミュニティを巻き込んだ展開</p> <p>[キーワード] ・U=U、ウイルス量検出限界未満、HIV感染防止、TasP、PrEP ・コミュニティ、研究者、協働、実践、検査イベント、MSM</p>	<p>（予習：1時間半） 治療薬は現在までにどれくらい進んでいるのか、それによってHIVに感染している人の生活や人生はどう変わっているのかを調べておく。</p> <p>（復習：1時間半） コミュニティメンバーとともに感染症対策をすることの意義を考える。</p>
14	田中 廣津 藤倉 馬場	<p>[授業内容] テーマ：グループ・ディスカッションと全体討論</p> <p>[授業方法] 次の事項を議論する： ・新しい世界はどう切り開かれたか？ ・これから新しい世界を切り拓くには？</p> <p>[キーワード] ・4学部共通講座のふりかえり ・必要となる“真の教養”とは？ ・大学生活でどう学んでいくか？</p>	<p>（予習：3時間半） これまでの授業で感動した内容、印象に残ったグループ・ディスカッションをまとめておく。</p> <p>（復習：8時間半） 全体討論の中で、自分の仲間たちの発言、考え方から学んだことをまとめる。さらに、21世紀を生きていくために自分にとって不可欠な教養にどんなものがあるか考え、それらを大学生活および生涯にわたってどう学習していくか計画をたて実行に移していく。</p>
		定期試験を実施しない	

授業科目名	【新カリ】心理学		授業形態	講義
英語科目名			開講学期	前期
対象学年	1		単位数	2.0
科目責任者	村山 憲男			
科目担当者				
授業概要				
<p>【授業全体の内容】 心理学は一般に「心の科学」とされており、その領域には、人間の情報処理過程を扱う認知心理学や、生涯発達の過程を扱う発達心理学、現場でのカウンセリングや検査などを扱う臨床心理学など、様々な種類がある。本科目は、心理学の基本的な内容を理解することが目標であるが、さらに、実生活のほか教育現場や医療現場などで実際に役立つ応用的な内容も積極的に取り扱っていく。たとえば、情報処理過程の一部である記憶のメカニズムについて解説し、国家試験等にも有用な効率的な記憶なども紹介する。</p> <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】 この科目は「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」という学位授与方針の達成に寄与する。</p> <p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人間の情報処理過程を理解し説明できる。 2. 人間の対人コミュニケーションの特徴を理解し説明できる。 3. 人間の生涯発達の特徴を理解し説明できる。 4. 臨床心理学の概論を理解し説明できる。 				
成績評価				
<p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人間の情報処理過程を理解し説明できる。（定期試験） 2. 人間の対人コミュニケーションの特徴を理解し説明できる。（定期試験） 3. 人間の生涯発達の特徴を理解し説明できる。（定期試験） 4. 臨床心理学の概論を理解し説明できる。（定期試験） <p>【成績評価の方法】 定期試験（筆記）100%。ただし、受講態度がふさわしくなく、改善が認められない場合、減点する。</p>				
履修における留意事項				
<p>【履修要件】 特になし。</p> <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】 ノートを必ず持参すること。</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 授業で解説する。</p> <p>【テキスト・参考書等】 特にないが、ノートを必ず持参すること。資料等は必要に応じて適宜配布する。</p>				
連絡先とオフィスアワー				
<p>【連絡先】 担当：村山憲男 E-mail：n-murayama [at] juntendo.ac.jp [at]を@に変更。</p> <p>【オフィスアワー】 日時：金曜日12:10から12:45 場所：授業内で伝達する。 他の学生の相談時間と重複しないようにするため、できるだけ前週までにE-mailで予約すること。</p>				
備考				

【学修時間】
この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。

【実務経験のある教員による授業科目】
臨床心理士・公認心理師として、総合病院や精神科クリニックにて、15年程度の実務経験がある。また、現在は学生相談なども担当している。授業では、これらで得られた生きた知見を紹介する。

【その他】
授業のなかで、4年生や大学院生などによる質問紙調査を行う場合がある。参加することによって、質問紙調査研究の実際を体験することができ、心理学を学ぶ上でメリットとなる。しかし、参加・不参加は履修者本人の自由であり、参加・不参加および回答内容などによる成績への影響は一切ない。
履修者本人・保護者が調査研究への参加を希望しない場合、および、参加したものの研究での使用を希望しない場合、講義内やメールなどでその旨を科目責任者まで連絡すること。
また、新型コロナウイルス感染症の発生状況やその他の状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合がある。

授業計画 【授業内容と準備学修等】

授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（レポート）
1	村山 憲男	（授業内容） オリエンテーションとして、授業の目的と概要、成績評価、履修上の注意について説明する。 また、心理学の全体像について、最近のテーマを含めて解説する。 （授業方法） 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。	【予習：0時間】 【復習：2時間】 心理学の全体像について、学んだ知識を整理しておく。
2	村山 憲男	（授業内容） 認知心理学：記憶として、記憶のメカニズムや種類について解説する。 （授業方法） 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。	【予習：2時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 記憶のメカニズムや種類について、学んだ知識を整理しておく。
3	村山 憲男	（授業内容） 認知心理学：記憶として、効率的な記憶について、実践的な内容を解説する。 （授業方法） 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。	【予習：2時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 授業で紹介した効率的な記憶について、学んだ知識を整理しておくとともに、他の授業などでも実践してみる。
4	村山 憲男	（授業内容） 社会心理学：対人コミュニケーションの特徴について解説する。 （授業方法） 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。	【予習：2時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 対人コミュニケーションの特徴について、学んだ知識を整理しておく。
5	村山 憲男	（授業内容） 社会心理学：ゲーム理論と説得の技法について解説する。 （授業方法） 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。	【予習：2時間】 前の授業中に課した予習内容に取り組む。 【復習：2時間】 ゲーム理論と説得の技法について、学んだ知識を整理しておく。

6	村山 憲男	<p>(授業内容) 小テストにより到達度を確認するとともに、知識をより定着させたものにする。</p> <p>(授業方法) 第1～5回目までの内容に関する小テストを行い、この授業内で解説する。</p>	<p>【予習：4時間】</p> <p>これまでの内容を体系的に整理するとともに、小テストに向けて知識を確実にしておく。</p> <p>【復習：3時間】</p> <p>間違えた内容を中心に、理解・記憶を確実にする。</p>
7	村山 憲男	<p>(授業内容) 発達心理学：生涯発達の特徴について解説する。</p> <p>(授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>【予習：2時間】</p> <p>前の授業中に課した予習内容に取り組む。</p> <p>【復習：2時間】</p> <p>生涯発達の特徴について、学んだ知識を整理しておく。</p>
8	村山 憲男	<p>(授業内容) 臨床心理学：フロイトとユングの理論について解説する。</p> <p>(授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>【予習：2時間】</p> <p>前の授業中に課した予習内容に取り組む。</p> <p>【復習：2時間】</p> <p>フロイトとユングの理論について、学んだ知識を整理しておく。</p>
9	村山 憲男	<p>(授業内容) 臨床心理学：ロジャーズの理論について解説する。</p> <p>(授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>【予習：2時間】</p> <p>前の授業中に課した予習内容に取り組む。</p> <p>【復習：2時間】</p> <p>ロジャーズの理論について、学んだ知識を整理しておく。</p>
10	村山 憲男	<p>(授業内容) 健康心理学：ストレスの特徴について解説する。</p> <p>(授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>【予習：2時間】</p> <p>前の授業中に課した予習内容に取り組む。</p> <p>【復習：2時間】</p> <p>ストレスの特徴について、学んだ知識を整理しておく。</p>
11	村山 憲男	<p>(授業内容) 健康的なコミュニケーション：アサーションの理論について解説する。</p> <p>(授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>【予習：2時間】</p> <p>前の授業中に課した予習内容に取り組む。</p> <p>【復習：2時間】</p> <p>感覚・知覚の特徴について、学んだ知識を整理しておく。</p>
12	村山 憲男	<p>(授業内容) 心理査定法：心理査定法について解説するとともに、実際に使われる心理検査を実施する。</p> <p>(授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>【予習：2時間】</p> <p>前の授業中に課した予習内容に取り組む。</p> <p>【復習：2時間】</p> <p>認知症の心理学的特徴について、学んだ内容を整理しておく。</p>
13	村山 憲男	<p>(授業内容) 心理学の実際：認知症に関係する心理学の最近の研究や、社会的な問題について解説する。</p> <p>(授業方法) 授業中に示すスライドに沿って講義を進める。</p>	<p>【予習：2時間】</p> <p>前の授業中に課した予習内容に取り組む。</p> <p>【復習：2時間】</p> <p>認知症に関係する心理学の最近の研究や社会的な問題について、内容を整理しておく。</p>

14	村山 憲男	<p>(授業内容) 小テストにより到達度を確認するとともに、知識をより定着させたものにする。</p> <p>(授業方法) 第7～13回目までの内容に関する小テストを行い、この授業内で解説する。</p>	<p>【予習：4時間】</p> <p>これまでの内容を体系的に整理するとともに、小テストに向けて知識を確実にしておく。</p> <p>【復習：3時間】</p> <p>間違えた内容を中心に、理解・記憶を確実にする。</p>
		定期試験	

授業科目名	【新カリ】経済学		授業形態	講義
英語科目名			開講学期	前期
対象学年	1		単位数	2.0
科目責任者	三浦 留美			
科目担当者				
授業概要				
<p>【授業全体の内容】 経済学の用語・概念を理解し、それらを用いて具体的な経済問題を理解する。特に、人々の経済行動を分析するミクロ経済学、および一国全体の経済状況を分析するマクロ経済学の双方についてバランス良く学習する。テレビや新聞等で報じられる経済ニュースは社会に出た途端に自身のビジネスや生活に関わるものとなる。本講義で扱うトピックは経済学という学問として捉えるのではなく、むしろ社会・経済で生活する上での一般常識に近いものだと思って、修得する必要性を感じながら臨んで欲しい。</p> <p>【授業の位置付け（学位授与方針に定められた知識・能力等との関連）】 この科目は「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」という学位授与方針の達成に寄与する。</p> <p>【授業の到達目標】 1. ミクロ経済学とマクロ経済学の基本的用語を理解し、それぞれの概念の関係について説明できる。 2. 具体的な経済問題について、講義で学んだ用語を用いて解釈できる。</p>				
成績評価				
<p>【成績評価の基準】 1. ミクロ経済学とマクロ経済学の基本的用語について説明できる。（定期試験） 2. 具体的な経済問題について、講義で学んだ用語を用いて解釈できる。（定期試験） 3. 受講態度や学習意欲を授業内レポートで評価する。（授業内レポート）</p> <p>【成績評価の方法】 定期試験70%、授業内レポート30%で評価します。</p>				
履修における留意事項				
<p>【履修要件】 特になし</p> <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】 特になし</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 授業内の質問や疑問は、適宜対応する。</p> <p>【テキスト・参考書等】 プリントを授業時に配付する。参考書として伊藤元重『ミクロ経済学』日本評論社、2018年と伊藤元重『マクロ経済学』日本評論社、2012年を挙げるが、購入の必要は無い。</p>				
連絡先とオフィスアワー				
<p>【連絡先】 担当：三浦留美 E-Mail：r.miura.kt[at]juntendo.ac.jp [at]を@に置換してください。</p> <p>【オフィスアワー】 授業時間後に非常勤講師室（1号館2階）で対応する。</p>				
備考				

<p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業時間30時間以上を含む）の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>【実務経験のある教員による授業】 該当しない</p> <p>【その他】 新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>			
<p>授業計画 【授業内容と準備学修等】</p>			
授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（レポ -
1	三浦	<p>（授業内容） 経済学はどのような学問か、分析の対象と方法について理解する。</p> <p>（授業方法） 経済学の二大分野であるミクロ経済学とマクロ経済学の概要について解説する。</p>	<p>（予習：2時間） 最近の日本や世界で起きた経済ニュースについて調査する。</p> <p>（復習：3時間） ミクロ経済学とマクロ経済学の特徴や相違点について整理する。</p>
2	三浦	<p>（授業内容） 経済学の歴史的な展開について学習する。</p> <p>（授業方法） アダム・スミス、ケインズなどの経済学による理論を解説する。</p>	<p>（予習：2時間） アダム・スミスとケインズについて調査する。</p> <p>（復習：3時間） ケインズ政策と新古典派政策の中でどの政策が望ましいのか考察する。</p>
3	三浦	<p>（授業内容） ミクロ経済学について学習する。</p> <p>（授業方法） 経済学の中でのミクロ経済学は、資源配分の問題、ミクロ経済学と市場の失敗などミクロ経済学の特徴について分析する。</p>	<p>（予習：2時間） 資源配分問題の概要をつかむ。</p> <p>（復習：3時間） 現実の中でミクロ経済学はどのように我々の生活中で活かしているか考える。</p>
4	三浦	<p>（授業内容） 需要と供給について学習する。</p> <p>（授業方法） 需要と供給の仕組みを検討し、それを用いて需要曲線と供給曲線を分析する。</p>	<p>（予習：2時間） 需要曲線と供給曲線の違いをつかむ。</p> <p>（復習：3時間） 現実の生活の中で需要と供給がどのような影響を与えているのかを考える。</p>
5	三浦	<p>（授業内容） 消費者行動と需要曲線について学習する。</p> <p>（授業方法） 消費者余剰と企業行動を分析する。</p>	<p>（予習：2時間） 消費者行動による需要曲線の動きをつかむ。</p> <p>（復習：2時間） 現実の消費者余剰によって企業はどのような行動をとるのかを考える。</p>
6	三浦	<p>（授業内容） 需給均衡を学習する。</p> <p>（授業方法） 需要曲線と供給曲線によって交差する交点の重要性を学ぶ。</p>	<p>（予習：2時間） 世の中の財・サービスはどうしてそれぞれで価格が異なるのかを考える。また、どのようなときに価格が変化するか考える。</p> <p>（復習：2時間） 経済に様々な外的ショックが発生したときに市場均衡がどう動くのかを整理する。</p>

7	三浦	<p>(授業内容) マクロ経済学について学習する。</p> <p>(授業方法) マクロ経済学は何か。マクロ経済学の基本的な用語、恒等式、三面等価、付加価値を解説する。</p>	<p>(予習：2時間) 三面等価と付加価値について調べてその意味をつかむ。</p> <p>(復習：2時間) 現実の中でマクロ経済学が我々の生活にどのように影響しているのかを考える。</p>
8	三浦	<p>(授業内容) マクロ経済学の捉え方を学ぶ。</p> <p>(授業方法) マクロ経済学の需要と供給、経済成長率と寄与度について解説する。</p>	<p>(予習：2時間) GDPと成長方程式について調査する。</p> <p>(復習：2時間) マクロ経済の動きが経済に及ぼす影響について考える。</p>
9	三浦	<p>(授業内容) GDPとマクロ経済学について学習する。</p> <p>(授業方法) 需要と供給は、どちらがマクロ経済の動きを決めるのかを学習する。</p>	<p>(予習：2時間) 供給について新古典派の考え方を調査する。</p> <p>(復習：2時間) 需要と供給についてケインズアンと新古典派の考え方をつかむ。</p>
10	三浦	<p>(授業内容) 乗数について学習する。</p> <p>(授業方法) 限界消費性向と乗数を学習する。</p>	<p>(予習：2時間) 限界消費性向と乗数について調査する。</p> <p>(復習：2時間) 生産、所得、需要についてつかむ。</p>
11	三浦	<p>(授業内容) 需要不足の経済について学習する。</p> <p>(授業方法) 投資と政府支出について説明する。</p>	<p>(予習：2時間) 乗数プロセスについて調査する。</p> <p>(復習：2時間) マクロ経済の基本的な考え方をつかむ。</p>
12	三浦	<p>(授業内容) アベノミクスについて学習する。</p> <p>(授業方法) アベノミクスを説明する。</p>	<p>(予習：2時間) なぜアベノミクスを実施しているのかを調査する。</p> <p>(復習：2時間) 経済学の観点からアベノミクスの是非を考える。</p>
13	三浦	<p>(授業内容) FTA、EPA、TPPについて学習する。</p> <p>(授業方法) 国際経済連携について概観する。</p>	<p>(予習：2時間) FTA、EPA、TPPについて調べる。</p> <p>(復習：2時間) 日本の通商戦略を考える。</p>
14	三浦	<p>(授業内容) 日本の借金について学習する。</p> <p>(授業方法) 日本の借金はどのようにして膨らみ、世界で最も多くなったのかを概観する。</p>	<p>(予習：2時間) 人口の高齢化と社会保障について調査する。</p> <p>(復習：2時間) 日本の借金が我々の暮らしにどのような影響があるのかを考察する。</p>
		定期試験	

授業科目名	【新カリ】文学		授業形態	
英語科目名			開講学期	
対象学年	1		単位数	2.0
科目責任者	杉山 和也			
科目担当者	杉山 和也			
授業概要				
<p>【授業全体の内容】</p> <p>本科目は、講義の授業形態で行われる。文学作品を通して人間の生き方や考え方を知り、人間についてより深く理解することを目指す。時代を代表する作品を用いて、言語及び文学に対する知識と理解を深め、作品から読み取れる歴史や社会について考察する。これらを通して、幅広く文学に親しむ態度を身に付ける。</p> <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】</p> <p>この科目は「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」という学位授与方針の達成に寄与する。</p> <p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 世界の著名な文学作品に関して、歴史的背景を踏まえつつ、基本的な説明をすることができる。 2. 信頼性の高い情報に、的確にアクセスし、それらをもとに論理的に考察することができる。 3. 人類の文化的遺産に対して、理解を示すことができる。 4. 文字、書道、書籍の歴史や価値について説明することができる。 5. 日本の舞台芸能である能・狂言・歌舞伎の歴史や価値について説明することができる。 6. 日本文化や、日本に生きる自己存在をグローバルな観点から相対的に捉えることができる。 7. 現代文化や、現代に生きる自己存在を通史的な観点から相対的に捉えることができる。 				
成績評価				
<p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内で扱った文学作品や、その歴史的背景等に関して基礎的な知識が備わっている。（小テスト） 2. 授業で扱った内容を説明することができる。（定期試験） 3. 毎回の授業に対して、自分なりの感想や意見を持ち、コメントとして文を書くことができる。（平常点） <p>【成績評価の方法】</p> <p>小テスト2回（40％）、定期試験（40％）、平常点（20％）を総合して評価する。</p>				
履修における留意事項				
<p>【履修要件】</p> <p>特になし</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）]</p> <p>授業はZoomにて、リアルタイムで行う予定である。</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】</p> <p>平常授業及び準備学習における課題については、授業内で随時、指示する。 小テスト、定期試験、コメントについては、評価規準を適宜、提示する。</p> <p>【テキスト・参考書等】</p> <p>特になし。テキストについては授業内でスライドで示し、授業後に参考資料としてスライドの内容の一部を提供する。また、参考書等については、適宜、授業の中で指示する。</p>				
連絡先とオフィスアワー				
<p>【連絡先】</p> <p>担当：杉山 和也 E-mail：{k.sugiyama.rn@juntendo.ac.jp}</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>授業後に1303号室、ないし上記メールアドレス</p>				
備考				

【学修時間】

この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。

【その他】

毎回の授業で、コメントを提出する。提出方法については、授業内で説明する。コメントの内容は、授業内で無記名の形で紹介することがあるので、執筆にあたっては、この点、あらかじめ注意をすること。

なお、授業中に表示される資料、および講義風景等を、受講生等、科目担当者・科目責任者以外の者が、撮影・録画・録音等を行なうことについては、一切、これを禁じる。授業の録画映像やスライド資料等の著作権については、科目担当者・科目責任者に帰属するものとし、許可なく第三者に転送、公表、複製等することは認めない。この授業の映像等に自分の姿を映したくない受講者は、必ずカメラを停止しておくか、物理的にカメラにシールを貼るなどして映らないような対処をあらかじめ行っておくこと。そうした対処が行われていない場合においては、肖像権の利用を許諾したものと見做す。なお、科目担当者・科目責任者は、学術・教育以外の目的で本講義の映像等を利用しないものとする。

授業計画 【授業内容と準備学修等】

授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（ポ-）
1	杉山 和也	<p>【授業内容】《説話とは何か》シラバスを参照しつつ、授業の具体的な進め方、評価の方法について確認する。また、この講義の主題である「説話」とは何かについて解説する。</p> <p>【授業方法】スライド資料を用いて講義を進める。</p>	<p>（予習：1時間）あらかじめシラバスを読んでおく。また、高校で習った文学史を復習しておく。</p> <p>（復習：2時間）オンラインで配布されたスライド資料の抜粋版を読み、授業で扱った内容を整理する。</p>
2	杉山 和也	<p>【授業内容】《世界に広がる「月の鼠」説話》 釈迦の一代記と、キリスト教の聖人伝『黄金伝説』所収「バルラムとヨサファト」の相関関係について、「四門出遊」の話を中心に検討する。</p> <p>【授業方法】スライド資料を用いて講義を進める。</p>	<p>（予習：1時間）仏教、キリスト教、イスラーム教はそれぞれどのような宗教であるかについて、基本的な事柄を自分なりに調べる。</p> <p>（復習：2時間）オンラインで配布されたスライド資料の抜粋版を読み、授業で扱った内容を整理する。</p>
3	杉山 和也	<p>【授業内容】《世界に広がる「月の鼠」説話》 『黄金伝説』、アラビアの寓話集『カリラとディムナ』、漢訳仏典、「月の鼠」説話を対照し、分析する。その上で、『万葉集』、歌学書『俊頼髓脳』、キリシタン資料『サントスの御作業』の「月の鼠」説話を分析し、世界諸国の文化の類似的側面の存在と、人類の普遍性について考察する。</p> <p>【授業方法】スライド資料を用いて講義を進める。</p>	<p>（予習：1時間）中学、高校までの世界史の授業の内容を復習する。</p> <p>（復習：2時間）オンラインで配布されたスライド資料の抜粋版を読み、授業で扱った内容を整理する。</p>

4	杉山 和也	<p>【授業内容】《お伽草子『御曹司島渡』》とその時代》『吾妻鏡』、『平家物語』諸本、『義経記』、歌舞伎『勧進帳』について、成立した時代背景を踏まえつつ解説する。その上で、それぞれの文献により、歴史上の人物としての源義経の実像が、どのようなものであったのか。また、時代が下るにつれて、どのような虚像を伴って描かれるようになったのかについて確認する。</p> <p>【授業方法】スライド資料を用いて講義を進める。</p>	<p>(予習：1時間) 源義経という人物について、自分なりに調べる。</p> <p>(復習：2時間) オンラインで配布されたスライド資料の抜粋版を読み、授業で扱った内容を整理する。</p>
5	杉山 和也	<p>【授業内容】《お伽草子『御曹司島渡』》とその時代》お伽草子『御曹司島渡』を読む。また、前近代において日本に住んでいた人々が、日本の最果てや、文化的他者に対してどのような認識を抱いていたのかについて、『竹取物語』、『今昔物語集』、『平家物語』などの文学作品や、日本列島を描いた古地図である行基式 日本図を分析することを通して検討し、この作品の成立した文化的背景、時代背景について考える。</p> <p>【授業方法】スライド資料を用いて講義を進める。</p>	<p>(予習：1時間) 行基という人物、ならびに「要石(かなめいし)」について、自分なりに調べる。</p> <p>(復習：2時間) オンラインで配布されたスライド資料の抜粋版を読み、授業で扱った内容を整理する。</p>
6	杉山 和也	<p>【授業内容】《お伽草子『御曹司島渡』》とその時代》中国の『水滸後伝』、朝鮮半島の『洪吉童伝』、ヨーロッパの『ポレクサンドル』、『ガリヴァー旅行記』など、虚実の入り交じった世界を渡航して行く冒険譚が、『御曹司島渡』の成立に近い時代に東西で成立していった時代背景、文化的背景について、各作品を概観しながら考察する。また併せて、漫画『ONE PIECE』などの現代の作品への文化的連続性についても考える。</p> <p>【授業方法】スライド資料を用いて講義を進める。</p>	<p>(予習：1時間) 『御曹司島渡』を読み直して、内容の理解を深めておく。</p> <p>(復習：2時間) オンラインで配布されたスライド資料の抜粋版を読み、授業で扱った内容を整理する。</p>

7	庄子 ひとみ	<p>【授業内容】《英国の文芸雑誌と推理小説の誕生》 産業革命期の英国は印刷技術と交通網の発展に伴い数多くの文芸雑誌が創刊された時代であり、帝国主義拡大とともに都市ロンドンの雑踏はそれだけで推理小説の題材となりました。オスカー・ワイルド、エドガー・アラン・ポー、コナン・ドイルのシャーロック・ホームズシリーズをはじめとした作品を複数取り上げ、時代背景とともに概観します。</p> <p>【授業方法】 スライド資料を用いて講義を進める。</p>	<p>(予習：2時間) 移民も含め雑多な人々が集うグローバル都市であるヴィクトリア朝時代のロンドンの様子を想像しながら、同時代の小説を読んでみる。</p> <p>(復習：4時間) オンラインで配布されたスライド資料の抜粋版を読み、授業で扱った内容を整理する。</p>
8	杉山 和也	<p>【授業内容】《説話と絵巻》 ひらがなの成立史、ならびに日本の書道史について概説し、前近代に用いられていた、くずし字の解読方法についても簡単な紹介を行なう。さらに、卷子本の構造や前近代の印刷技術について確認し、博物館での展示物を閲覧する際の鑑賞ポイントや、注目すべき点について概説する。以上を踏まえて、説話と、その表現媒体との関係性について検討する。第7回までの内容に関する授業中に小テストを行なう。</p> <p>【授業方法】 スライド資料を用いて講義を進める。</p>	<p>(予習：4時間) e国宝 (https://emuseum.nich.go.jp/) など、インターネット上で閲覧できる絵巻物を複数検索し、鑑賞すること。</p> <p>(復習：2時間) オンラインで配布されたスライド資料の抜粋版を読み、授業で扱った内容を整理する。</p>
9	杉山 和也	<p>【授業内容】《狂言「付子」をめぐる説話と世界の説話》 日本の舞台芸術である能と狂言、歌舞伎の歴史について概説する。その上で、狂言「付子」の内容を紹介する。</p> <p>【授業方法】 スライド資料を用いて講義を進める。</p>	<p>(予習：1時間) 日本の伝統芸能には、どのようなものがあるか、またその歴史について、自分なりに調べる。</p> <p>(復習：2時間) オンラインで配布されたスライド資料の抜粋版を読み、授業で扱った内容を整理する。</p>
10	杉山 和也	<p>【授業内容】《狂言「付子」をめぐる説話と世界の説話》 日本最古の狂言の台本『天正狂言集』「付子砂糖」と、『沙石集』「児の飴食ひたる事」、『法師物語絵巻』、『一休諸国物語』に見える狂言『付子』の類話を対照し、それぞれのテキストの性質、ならびにその時代背景を検討する。</p> <p>【授業方法】 スライド資料を用いて講義を進める。</p>	<p>(予習：1時間) 狂言『付子』の台本を読み直して、内容の理解を深めておく。</p> <p>(復習：2時間) オンラインで配布されたスライド資料の抜粋版を読み、授業で扱った内容を整理する。</p>

11	杉山 和也	<p>【授業内容】《狂言「付子」をめぐる説話と世界の説話》 敦煌で発見された中国の唐代の笑話集『啓顔録』、十五世紀の朝鮮半島の笑話集『村談解頤』、十五世紀のトルコの笑話集『ナスレッディン・ホジャ物語』に見える類話を確認し、改めて狂言『付子』、引いては日本文化の位置と価値について検討し直す。</p> <p>【授業方法】 スライド資料を用いて講義を進める。</p>	<p>(予習：1時間) 敦煌、朝鮮半島、トルコの地理的位置と、それぞれの地域の歴史について、あらかじめ簡単に調べる。</p> <p>(復習：2時間) オンラインで配布されたスライド資料の抜粋版を読み、授業で扱った内容を整理する。</p>
12	杉山 和也	<p>【授業内容】《武士をめぐる説話から武士道を問い直す》 新渡戸稲造『武士道』をはじめとする「武士道」観、ないし武士観を、近代世界史の流れを踏まえつつ整理する。その上で、日本敗戦前における社会的な影響の大きさについて、当時の教育の問題も含め確認する。また、そうした認識が「侍ジャパン」などの現代日本の表現に繋がっていることを確認する。第11回までの内容に関する授業中に小テストを行なう。</p> <p>【授業方法】 スライド資料を用いて講義を進める。</p>	<p>(予習：2時間) 武士道という言葉が、現代社会においてどのように用いられているか、インターネットなどで調べて整理しておくこと。</p> <p>(復習：4時間) オンラインで配布されたスライド資料の抜粋版を読み、授業で扱った内容を整理する。</p>
13	杉山 和也	<p>【授業内容】《武士をめぐる説話から武士道を問い直す》 『今昔物語集』巻25に見受けられる武士をめぐる説話を読む。その上で『古事記』、『日本書紀』、『平家物語』やその他、歴史史料に見受けられる武人たちの実際の戦場での残虐非道な側面を確認する。</p> <p>【授業方法】 スライド資料を用いて講義を進める。</p>	<p>(予習：1時間) 『古事記』、『日本書紀』、『今昔物語集』、『平家物語』が、それぞれどのような作品であるのか、基本的な情報を整理しておく。</p> <p>(復習：2時間) オンラインで配布されたスライド資料の抜粋版を読み、授業で扱った内容を整理する。</p>
14	杉山 和也	<p>【授業内容】《武士をめぐる説話から武士道を問い直す》 武士たちの実像を踏まえつつ新渡戸稲造の『武士道』を批判的に捉え、再検討し、その上で、現代における「武士道」観、武士観を問い直す。また、ヨーロッパにおける「騎士道」や、それと関わりの深い「騎士道物語」と、実際の騎士たちの振る舞いととの相関関係を、日本の例と対比する。</p> <p>【授業方法】 スライド資料を用いて講義を進める。</p>	<p>(予習：2時間) 『平家物語』の武士に関する記述を読み直して、内容の理解を深めておく。</p> <p>(復習：10時間) オンラインで配布されたスライド資料の抜粋版を読み、授業で扱った内容を整理する。</p>

授業科目名	【新カリ】人間の生き方		授業形態	講義
英語科目名			開講学期	半期（前期又は後期）
対象学年	1		単位数	2.0
科目責任者	長沼 淳			
科目担当者				
授業概要				
<p>[授業の全体の内容] 哲学の営為に触れ、哲学的に考えるということの意味を理解する。 哲学とは、あらゆるものごとの基盤を問い返す試みである。したがってその対象は、人間の存在そのものといった根源的なものから日常生活でふと経験する些細なことまで非常に広い。 本講では、われわれの存在について様々な角度から、これまでの哲学的な議論を基にしつつ、分析し、新たな視点を確保することを目指したい。あまりに当たり前すぎて考えてみることもしなかったような事象について捉え返す作業を積み重ね、哲学的考察の方法を習得できるようにしたい。前半はスポーツを題材にして哲学的に考察することによって、哲学的に考えることの日常性を確認する。後半は哲学上の論点を中心に、哲学的考察の方法を学ぶ。 こうした問いかけは、他者のみならず自らとの対話を求めるものであり、当然のことながらコミュニケーション能力や他者などと折り合いをつけながら生きるための基本的な視点を確保することになる。</p> <p>[授業の位置づけ（学位授与方針に定められた知識・能力等との関連）] この科目は「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」という学位授与方針の達成に寄与する。</p> <p>[授業の到達目標] 人間の生や生きるための具体的な営みを問い返すといった作業から、哲学的にものごとを考えるとどのようなことなのかを理解できるようにする。そのうえで、自分の問題意識にそって、哲学的な考察ができるようになることを第二の目標とする。 1. 哲学という方法論を理解することができる</p>				
成績評価				
<p>[成績評価の基準] ・ 哲学的に考察することの、基本的な構造を理解できるか、レポート、定期テストで評価する。 ・ 哲学的な考察を、自らの問題に応用できるか、授業後の小テスト、定期テストで評価する。 ・ 上記応用に基づき、日常生活への実践方法を構想できるか、定期テストで評価する。</p> <p>[成績評価の方法] 定期試験（80%）、レポート（15%）、小テスト（5%）を基本に総合的に評価する。</p>				
履修における留意事項				
<p>[履修要件] 特に指定しない。</p> <p>[履修上の注意] 「哲学的に考える」ということは簡単な問に見えて非常に難しい問題である。この授業を手がかりにして自らの生き方を振り返るきっかけとしてほしい。</p> <p>[課題に対するフィードバックの方法] レポートは翌週以降の講義後に評価や改善点を受講者に個別にフィードバックする。 定期試験については、次学期において評価、改善点をフィードバックする。</p> <p>[テキスト・参考書等] 授業内において適宜紹介する。</p>				
連絡先とオフィスアワー				

<p>[連絡先] 連絡先は授業内に告知する。</p> <p>[オフィスアワー] 日時：月曜の15:00から16:00、木曜の16:30から17:00 場所：1号館2階非常勤講師室 確実にコンタクトをとりたい場合は前日までメールにてアポイントメントをとること。</p> <p>備考</p> <p>[学修時間] この授業は講義の授業形態による2単位の科目であり、90時間（授業30時間以上を含む）の学修を必要とする内容から成り立つ。</p> <p>[その他] 授業内容は受講生の要望に応じて変更する場合がある。 コロナの状況次第で授業計画、成績評価の基準及び方法が変更となる場合があるので、その都度の案内には注意してほしい。</p>			
<p>授業計画 【授業内容と準備学修等】</p>			
授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（レポート）
1	長沼 淳	<p>（授業内容） オリエンテーション 哲学とは何かを考える</p> <p>（授業方法） 講義と小レポート作成を行う</p>	<p>（予習） 必要なし</p> <p>（復習：5時間） 哲学とは何かをまとめ、学びを深めること。</p>
2	長沼 淳	<p>（授業内容） スポーツとは何か</p> <p>（授業方法） 講義とその内容に応じた考察を行う</p>	<p>（予習：2時間） 配布プリントを確認しておくこと</p> <p>（復習：3時間） スポーツの持つ文化性について考えておくこと。</p>
3	長沼 淳	<p>（授業内容） スポーツと「体育」の違いについて</p> <p>（授業方法） 講義とその内容に基づき各自考察を行う</p>	<p>（予習：2時間） 予習：配布プリントを確認しておくこと。</p> <p>（復習：3時間） 体育は何を育てる科目なのかを考え直すこと。</p>
4	長沼 淳	<p>（授業内容） ルールを守るということ</p> <p>（授業方法） 講義とその内容に基づき各自考察を行う</p>	<p>（予習：2時間） 配布プリントを確認しておくこと。</p> <p>（復習：3時間） ルールとは何のために存在し、プレイヤーに順守を求めるのはなぜなのかを考えておくこと。</p>
5	長沼 淳	<p>（授業内容） フェアプレーとは何か</p> <p>（授業方法） 講義とその内容に基づき各自考察を行う</p>	<p>（予習：2時間） 配布プリントを確認しておくこと。</p> <p>（復習：2時間） スポーツマンシップに則り正々堂々と戦うとはどのようなことなのかを考えておくこと。</p>
6	長沼 淳	<p>（授業内容） アマスポーツとプロスポーツは何か異なるのか</p> <p>（授業方法） 講義とその内容に基づき各自考察を行う</p>	<p>（予習：2時間） 配布プリントを確認しておくこと。</p> <p>（復習：2時間） アマレスとプロレスは何か違うのかを考えておくこと。</p>

7	長沼 淳	<p>(授業内容) 心があるということ</p> <p>(授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う</p>	<p>(予習：2時間) 配布プリントを確認しておくこと</p> <p>(復習：2時間) ドラえもんには心があるのか、ペッパーには心があるのか、その祖も心があるとはどのようなことを考えること。</p>
8	長沼 淳	<p>(授業内容) 本当とは何か</p> <p>(授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う</p>	<p>(予習：2時間) 配布プリントを確認しておくこと</p> <p>(復習：2時間) 自分の認識が正しかったり誤ったりするのはなぜなのか、そして今自分は正しく世界を認識しているのかを考えること。</p>
9	長沼 淳	<p>(授業内容) 記憶とは何か</p> <p>(授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う</p>	<p>(予習：2時間) 事前配布資料を確認しておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 何かを思い出すこととあるものを思い浮かべることの違いについて考えておくこと。</p>
10	長沼 淳	<p>(授業内容) 確率とは何か</p> <p>(授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う</p>	<p>(予習：2時間) 配布プリントを確認しておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 一回だけの出来事について確率計算をする意味を自分なりにまとめること。</p>
11	長沼 淳	<p>(授業内容) 名前と実体</p> <p>(授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う</p>	<p>(予習：2時間) 配布プリントを確認しておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 言葉が意味を持つということについて、それがどうということなのかを考えること。</p>
12	長沼 淳	<p>(授業内容) 私とは何か アイデンティティについて考える</p> <p>(授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う</p>	<p>(予習：2時間) 配布プリントを確認しておくこと。</p> <p>(復習：2時間) アイデンティティ形成に関わる他者の存在の意義について自分なりに考えること。</p>
13	長沼 淳	<p>(授業内容) 主観は客観的になりうるか</p> <p>(授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う</p>	<p>(予習：2時間) 配布プリントを確認しておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 言葉の意味が自分の思い通りに他者に伝わるのはなぜなのかを自分なりにまとめること。</p>
14	長沼 淳	<p>(授業内容) 哲学を哲学的に考える</p> <p>(授業方法) 講義とその内容に基づき各自考察を行う</p>	<p>(予習：2時間) 配布プリントを確認しておくこと。</p> <p>(復習：2時間) 試験の課題をしっかりと考えておくこと。</p>
		定期試験	

授業科目名	【新カリ】情報処理演習		授業形態	演習・クラス分け・単独
英語科目名			開講学期	半期（前期または後期）
対象学年	1	1	単位数	2.0
科目責任者	廣津 信義			
科目担当者	廣津 信義 木藤 友規 山田 泰行			
授業概要				
<p>【授業全体の内容】</p> <p>この授業では、情報処理の基礎的な知識や技能の習得を目指す。特に、ワープロソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトという、スポーツ健康科学部の学びで必要となる基本的なソフトウェアの活用能力を習得し、情報を収集・整理・分析して資料を作成する技術の向上に重点を置いて授業を行う。情報倫理・インターネットの活用など情報を扱う際の危険性やルールについての理解も深めるとともに、簡単なプログラミングによるデータ処理も行う。</p> <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】</p> <p>この科目は「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」という学位授与方針の達成に寄与する。</p> <p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 広く普及しているソフトウェアを中心にコンピュータの基礎的な操作ができる 2. コンピュータを用いて情報を収集・整理・分析し、一般的かつ基礎的な資料を作成できる 3. コンピュータで情報を扱う際の危険性やルールを説明できる 				
成績評価				
<p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. グループまたは個人で、与えられた時間内に情報を入力・交換・処理することができる。 2. Wordの基礎的な編集機能を理解し、文書が作成できる。（課題） 3. Excelの表計算と関数の基礎的な仕組みを理解し、データを整理・分析して、図表を作成できる。（課題） 4. PowerPointの基礎的な操作方法を理解し、プレゼンテーションのためのスライドを作成できる。（課題） 5. 剽窃や著作権を中心に、コンピュータで情報を扱う際の危険性やルールを説明できる。（課題レポート） <p>【成績評価の方法】</p> <p>毎回の授業で課される課題（90%）、課題レポート（10%）を総合して評価する。</p>				
履修における留意事項				
<p>【履修要件】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受講できる学生は、J-Pass上で履修登録を行った学生に限る。各クラスは定員制で先着順に受け付ける。定員については、別に定め、履修登録前に提示する。 2. 2年生以上の受講希望者について、定員に達したために履修できなかった場合、履修登録期間内（修正期間を除く）にクラス分け担当教員まで申し出ることで2年生以上の学生に限り受講を認める場合がある。 <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1回の授業について、3分の2以上の出席時間がなく、課題を完成できないときには、その回の授業を欠席扱いとする場合がある。 2. 授業開始時に課題説明を行うため、遅刻した場合には授業に参加できない場合がある。 <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】</p> <p>授業の中で直接ないしはEmail（またはJuntendo Passport）でフィードバックする。</p> <p>【テキスト・参考書等】</p> <p>購入を求めるテキストはありません。必要な資料は授業内で配布します。</p>				
連絡先とオフィスアワー				

<p>【連絡先】 担当： 廣津 信義 E-mail : nhirotu@juntendo.ac.jp 木藤 友規 E-mail : t.kito@juntendo.ac.jp 山田 泰行 E-mail : yayamada@juntendo.ac.jp 【オフィスアワー】 廣津： 火曜日12:50 14:45 (1号館3階1327室) 木藤： 前期月曜日13:00-13:30、後期：金曜日12:30-13:00 (1号館 4階 1403室) 山田： 月曜日から木曜日12:10 13:50 (1号館3階1326室) 上記の時間帯には、予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生の相談時間とかち合わないようするため、できるだけ前日までにE-mailで予約してください。質問や相談は予約のあった学生を優先します。</p>			
<p>備考</p>			
<p>【学修時間】 この授業は、演習の授業形態による2単位の科目であり、授業60時間と準備学習30時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。1回の授業時間は100分とする。</p>			
<p>[実務経験のある教員による授業] 製鉄関連企業においてプラントエンジニアとしての業務にあっていた経験も生かし、統計学が実社会で有用であるということも織り込みながら授業をします。</p>			
<p>【その他】 中・高教諭1種免許（保健体育）取得するための必修科目 科目：教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 施行規則に定める科目区分又は事項等：情報機器の操作</p> <p>学生の学修進度に応じて、授業計画を変更する場合があります。 受講者数は50名程度を予定していますが、受講者の状況に応じて増減もありえます。 授業で扱うソフトウェア（ワープロソフト）・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトの活用については、クラスにより内容や学修順が異なる場合があるので、履修時に確認してください。</p>			
<p>授業計画 【授業内容と準備学修等】</p>			
授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（レポート）
1	廣津 木藤 山田	<p>【授業内容】 テーマ：情報収集と情報交換 機器の基本的な使用方法、及び本授業で身につけるスキルについて学習する。ブラウザとメールの基本を理解し、情報の収集と交換の方法を身につける。</p> <p>【授業方法】 コンピュータを使って自ら課題に取り組む。</p>	<p>(予習：1時間) シラバスを読み、授業を受ける意義を確認しておくこと。 (復習：3時間) ガイダンスを受け、自分にとっての受講の意義を確認すること。ローマ字入力で、スムーズに日本語入力ができるようにすること。</p>
2	廣津 木藤 山田	<p>【授業内容】 テーマ：文書を作成する ワードプロセッサソフト（Word）の基本機能のうち、書式とレイアウトに関する操作方法を習得する。また、それらの仕組みについて理解を深める。</p> <p>【授業方法】 コンピュータを使って自ら課題に取り組む。</p>	<p>(予習：2時間) 日本語ローマ字入力の練習をしておくこと。 (復習：2時間) 日本語入力でのキーボードのブラインドタッチの練習をしておくこと。</p>

3	廣津 木藤 山田	<p>【授業内容】 テーマ：文書を編集する ワードプロセッサソフト（Word）の基本機能のうち、参照機能（目次の作成）とセクション区切りに関する操作方法を習得する。また、それらの仕組みについて理解を深める。</p> <p>【授業方法】 コンピュータを使って自ら課題に取り組む。</p>	<p>（予習：2時間） Wordの操作に慣れておくこと。 （復習：2時間） 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。</p>
4	廣津 木藤 山田	<p>【授業内容】 テーマ：文書作成の生産性を高める ワードプロセッサソフト（Word）の基本機能のうち、他のソフトウェアとの連携操作を学習する。具体的には、差し込み印刷機能の操作方法とリンクの仕組みについて理解を深める。</p> <p>【授業方法】 コンピュータを使って自ら課題に取り組む。</p>	<p>（予習：2時間） 差し込み文書について調べておくこと。 （復習：2時間） 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。</p>
5	廣津 木藤 山田	<p>【授業内容】 テーマ：評価と集計 表計算ソフト（Excel）を使って、前回のプレゼンテーション評価の結果を集計して、表にまとめる。また、Excel関数とその仕組みについて理解を深める。</p> <p>【授業方法】 コンピュータを使って自ら課題に取り組む。</p>	<p>（予習：2時間） Excelでの関数入力と罫線表記機能を学習しておくこと。 （復習：2時間） 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。</p>
6	廣津 木藤 山田	<p>【授業内容】 テーマ：グラフの作成 表計算ソフト（Excel）を使って、指定されたグラフを作成する。</p> <p>【授業方法】 コンピュータを使って自ら課題に取り組む。</p>	<p>（予習：2時間） 図の種類と使い分けについて、まとめておくこと。 （復習：2時間） 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。</p>
7	廣津 木藤 山田	<p>【授業内容】 テーマ：データベースの作成と分析 表計算ソフト（Excel）を使って、データベースを作成する。また、ピボットテーブルを使用した分析方法について理解を深める。</p> <p>【授業方法】 コンピュータを使って自ら課題に取り組む。</p>	<p>（予習：2時間） 指定されたデータ入力を完了しておくこと。 （復習：2時間） 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。</p>

8	廣津 木藤 山田	<p>【授業内容】 テーマ：文字列操作（抽出・検索機能を含む） 表計算ソフト（Excel）を使って、文字列操作（数字以外の文字情報に関する処理）を学習する。 【授業方法】 コンピュータを使って自ら課題に取り組む。</p>	<p>（予習：2時間） 指定されたデータ入力を完了しておくこと。 （復習：2時間） 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。</p>
9	廣津 木藤 山田	<p>【授業内容】 テーマ：プログラミング 表計算ソフト（Excel VBA）を使って、プログラミングについて学習する。 【授業方法】 コンピュータを使って自ら課題に取り組む。</p>	<p>（予習：1時間） プログラミング言語について調べておくこと。 （復習：4時間） 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。</p>
10	廣津 木藤 山田	<p>【授業内容】 テーマ：プレゼンテーションソフト（PowerPoint）の基本機能を学ぶ。 与えられた課題に対して、制限時間内にできるだけ多くの情報を収集整理し、考えをまとめる。 【授業方法】 コンピュータを使って自ら課題に取り組む。</p>	<p>（予習：2時間） ブラウザーを使って、課題の下調べをしておくこと。また、PowerPointに文字入力ができるようにしておくこと。 （復習：2時間） 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと</p>
11	廣津 木藤 山田	<p>【授業内容】 テーマ：プレゼンテーションソフト（PowerPoint）のアニメーション機能を学ぶ。 アニメーション機能を用いて効果的なスライドを作成する。 【授業方法】 コンピュータを使って自ら課題に取り組む。</p>	<p>（予習：2時間） スライドの内容についてアイデアをまとめておくこと。 （復習：2時間） 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。</p>
12	廣津 木藤 山田	<p>【授業内容】 テーマ：プレゼンテーションソフト（PowerPoint）を使った発表準備 制限時間内にグループでのアイデアをまとめ、発表用スライドを作成する。 【授業方法】 コンピュータを使ってグループで課題に取り組む。</p>	<p>（予習：2時間） 発表のアイデアをまとめておくこと。 （復習：4時間） 発表用スライドを準備すること。</p>
13	廣津 木藤 山田	<p>【授業内容】 テーマ：プレゼンテーションソフト（PowerPoint）の機能を使って発表する。 与えられた課題に対して、グループ発表を実施する。その際、表計算ソフトを利用して、発表内容を評価・集計する。 【授業方法】 コンピュータを使ってグループで課題に取り組む。また、プレゼンテーションを行う。</p>	<p>（予習：4時間） 発表練習をしておくこと。 （復習：1時間） 他のGrの内容を把握すること。</p>

14	廣津 木藤 山田	<p>【授業内容】 テーマ：情報を扱う際のルール 著作権と剽窃を中心に、情報を 扱う際に気を付けるべきこと について情報を整理し、レポート としてまとめる方法を学ぶ。 【授業方法】 コンピュータを使って自ら課題 に取り組む。</p>	<p>(予習：2時間) 著作権に関する資料を収集しておくこと。 (復習：2時間) 授業の最後に課せられた課題に取り組むこと。</p>
		定期試験を実施しない	

授業科目名	【新カリ】データサイエンスのための数学		授業形態	講義
英語科目名			開講学期	前期
対象学年	1	1・2	単位数	2.0
科目責任者	小宮根 文子			
科目担当者	小宮根 文子			
授業概要				
<p>【授業全体の内容】</p> <p>本科目は、講義の授業形態で行われる。近年のICTの発達により、多様な分野の様々な種類のデータが容易に収集・活用できるようになっている中で、データの扱いに当たって必須となる数理・データサイエンス・AIの知識について身に付けることを目標とする。また、スポーツ健康科学の分野で基本的な数学の知識を活用し、論理的に思考できる能力を高められるように、具体的な問題を提示し、その取り組みを通して学修を進める。</p> <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】</p> <p>この科目は「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」という学位授与方針の達成に寄与する。</p> <p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 数理・データサイエンス・AIに関わる基礎的な数学用語を知る。 2. データの分析に必要な数学の基礎的な考え方が理解できる。 3. 2次関数、指数・対数に関する計算ができる。 				
成績評価				
<p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 数理・データサイエンス・AIに関わる基礎的な数学用語に関する知識を有している（定期試験）。 2. データの分析に関する数学の基礎的な考え方を理解している（定期試験）。 3. 2次関数、指数・対数に関する計算ができる（定期試験）。 4. 毎回のレポート課題や予習・復習の取り組み状況によって受講態度を評価する（平常点）。 <p>【成績評価の方法】</p> <p>期末試験（85%）、毎回の平常点（15%）を総合して評価する。</p>				
履修における留意事項				
<p>【履修要件】</p> <p>特になし</p> <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】</p> <p>1回の授業について、3分の2以上の出席時間がない場合は、その回の授業を欠席扱いとする。</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】</p> <p>プリント課題の内容は授業中にフィードバックする。定期試験後には要望があれば個別に解説を行う。</p> <p>【テキスト・参考書等】</p> <p>この科目では、必ず用意しなければならないテキストはありません。必要な資料は、授業中に、適宜配布します。一般的な数学のテキスト等を参考にしてもよいです。</p>				
連絡先とオフィスアワー				
<p>【連絡先】</p> <p>担当： 小宮根文子 E-mail：a-komine[at]juntendo.ac.jp（[at]を@に変更してください）</p> <p>【オフィスアワー】</p> <p>日時： 場所：非常勤講師室 事前にメールで日程を相談してください。</p>				
備考				

【学修時間】
この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。

【実務経験のある教員による授業】
システムエンジニアやスポーツ現場でのテクニカルサポートスタッフとしての実務経験を活かし、数学の学習で得られる計算技術だけでなく、論理的思考や発想力も実社会において有効であるということを念頭において授業をします。

【その他】
新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。

授業計画 【授業内容と準備学修等】

授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（レポート）
1	小宮根	[授業内容] ガイダンスとして、授業の目的、概要の解説、評価方法と授業の進め方を説明する [授業方法] スライドを用いて内容を説明する 高校までの数学の履修状況についてのアンケートとテストを実施する	（予習：1時間） シラバスを読み、他の数学の授業との違いを確認する 高校までの数学について見直しをする （復習：2時間） この授業の概要、授業目的や評価方法、授業の進め方を理解し、高校までの数学でこの授業の概要に関連する部分を復習する
2	小宮根	[授業内容] 一次関数の概念を説明し、式、グラフについて解説する [授業方法] スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する	（予習：2時間） 一次関数の式やグラフについて調べてくる （復習：2時間） 一次関数の式からグラフ、グラフから式にする方法を復習する
3	小宮根	[授業内容] 一次関数の応用について説明し、考え方や例題について解説する [授業方法] スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する	（予習：2時間） 一次関数の概念を理解しておく （復習：2時間） 一次関数を用いた応用問題の解法について復習する
4	小宮根	[授業内容] 二次関数の概念を説明し、式、グラフについて解説する [授業方法] スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する	（予習：2時間） 二次関数の式やグラフについて調べてくる （復習：2時間） 二次関数の式で、一般形から標準形にする方法、二次関数の式をグラフにする方法を復習する
5	小宮根	[授業内容] 二次関数の応用について説明し、考え方や例題について解説する [授業方法] スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する	（予習：2時間） 二次関数の概念を理解しておく （復習：2時間） 二次関数を用いた応用問題の解法について復習する

6	小宮根	二次関数と二次方程式の解の判別式の関係について解説する [授業方法] スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する	(予習：2時間) 二次方程式の解の判別式について調べてくる (復習：2時間) 二次関数のグラフと解の判別式、二次関数と一次関数のグラフと解の判別式の関係について復習する
7	小宮根	[授業内容] 指数法則について説明し、指数計算、指数の大小関係について解説する [授業方法] スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する	(予習：2時間) 指数法則について調べてくる (復習：2.5時間) 指数法則を用いた計算について復習する
8	小宮根	対数法則について説明し、対数計算、指数の大小関係について解説する [授業方法] スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する	(予習：2時間) 対数法則について調べてくる (復習：2.5時間) 対数法則を用いた計算について復習する
9	小宮根	[授業内容] 指数関数の概念を説明し、式、グラフについて解説する [授業方法] スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する	(予習：2時間) 指数関数の式やグラフについて調べてくる (復習：2.5時間) 指数関数の式でとりうる x , y の値や指数関数の式をグラフにする方法を復習する
10	小宮根	[授業内容] 対数関数の概念を説明し、式、グラフについて解説する [授業方法] スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する	(予習：2時間) 対数関数の式やグラフについて調べてくる (復習：2.5時間) 対数関数の式でとりうる x , y の値や対数関数の式をグラフにする方法を復習する
11	小宮根	[授業内容] 関数の式とグラフで、平行移動の関係について解説する [授業方法] スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する	(予習：2時間) 今まで学習した関数の式やグラフについて理解しておく (復習：2時間) グラフが平行移動の関係になる関数の式の関係について復習する
12	小宮根	[授業内容] 関数の式とグラフで、対称や逆関数の関係について解説する [授業方法] スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する	(予習：2時間) 今まで学習した関数の式やグラフについて理解しておく (復習：2時間) グラフが対称移動の関係になる関数の式の関係、逆関数となる関数の式の関係について復習する

13	小宮根	<p>[授業内容] 指数、対数を用いる応用問題の解法や考え方について解説する</p> <p>[授業方法] スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する</p>	<p>(予習：2時間) 指数、対数の概念を理解しておく</p> <p>(復習：2時間) 指数、対数を用いた応用問題の解法について復習する</p>
14	小宮根	<p>[授業内容] 総復習として今までの講義内容について、特に重要なポイントを解説する</p> <p>[授業方法] スライドを用いて講義した後、プリントの課題に取り組み理解を深め、課題の解説により今回の内容を再確認する</p>	<p>(予習：3時間) 今まで学習した関数の式やグラフ、計算方法や応用問題の考え方について理解しておく</p> <p>(復習：4時間) 本講義で学んだことについて復習をする</p>
		定期試験の実施	

授業科目名	【新カリ】細胞の生物学		授業形態	講義
英語科目名			開講学期	半期（前期または後期）
対象学年	1	1	単位数	2.0
科目責任者	松本 顕			
科目担当者	松本 顕 和田 麻理			
授業概要				
<p>【授業全体の内容】 本科目は、講義の授業形態で行われる。細胞生物学はスポーツ健康科学を学ぶ上での基礎概念として重要であるのみならず、医療技術が高度化する現代で、より良い社会生活を送る上での基礎知識としても重要である。細胞生物学の諸概念（細胞の構造と機能、さらには、生化学反応や生体におけるその役割）を教科書から学ぶだけでなく、実際の映像などを通してより身近なものとして定着させ、講義内容の実社会への応用例に関しても理解を深める。</p> <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】 この科目は「社会や環境の変化に対応し、自ら課題を見つけ、スポーツ健康科学分野における専門的な知識又は技能をもとに課題を解決できる能力」という学位授与方針の達成に寄与する。</p> <p>【授業の到達目標】 1. 細胞の構造を専門用語を用いて正しく説明できる。 2. 細胞の機能を専門用語を用いて正しく説明できる。 3. 細胞内での生化学反応や代謝について専門用語や化学式を用いて正しく説明できる。 4. 各種の細胞および組織のヒトの生命活動における役割を専門用語を用いて正しく説明できる。 5. 細胞生物学の専門用語を正しく使って生命科学の現代社会への影響を解説できる。</p>				
成績評価				
<p>【成績評価の基準】 1. 細胞の構造を専門用語を用いて正しく記述できる（定期試験および小テスト）。 2. 細胞の機能を専門用語を用いて正しく説明できる（定期試験および小テスト）。 3. 細胞内での生化学反応や代謝について専門用語や化学式を用いて正しく説明できる（定期試験および小テスト）。 4. 各種の細胞および組織のヒトの生命活動における役割を正しく説明できる（定期試験および小テスト）。 5. 提示された生命科学関連の時事問題に対して、細胞生物学の専門用語を正しく用いた解説ができる（定期試験および小テスト）。 6. 授業中の発言や質問、グループワークの取り組み状況によって受講態度を評価する（平常点）。</p> <p>【成績評価の方法】 定期試験（70%）、小テストおよびレポート（平常点を含んで30%）で総合評価する。ただし、各評価の比率は小テストやレポートの実施状況に従い、若干の変更がありうる。また、授業態度が授業進行上においてふさわしくないと判断した場合は、減点の対象とする。</p>				
履修における留意事項				
<p>【履修要件】 本講義の履修には、高校で旧課程の「生物」および「生物」、あるいは新課程の「生物基礎」「生物」を履修していることが望ましい。そうでない者はまずは高校の教科書などで自習して、知識を補充しておく努力をすること。</p> <p>【履修上の注意（科目独自のルール）】 1回の授業について、3分の2以上の出席時間がない場合は、その回の授業を欠席扱いとする。また、遅刻および早退3回で、1回分の欠席としてカウントする。</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 小テストは翌週の授業にて返却し、模範解答などを提示して解説する。ただし、受講者数が多く小テストの返却が困難な場合は、模範解答の提示のみに留める。</p> <p>【テキスト・参考書等】 教科書は特に指定しない。毎回、理解を助けるためのプリントを配布する予定である。参考書としては「エッセンシャル細胞生物学（南江堂）」を勧めるが、購入は強制しない。購入しない場合は、授業前に図書館で該当箇所を一読し、太字の重要単語やその説明文をノートに書き出すなどの予習をすることを勧める。</p>				
連絡先とオフィスアワー				

<p>【連絡先】 担当：松本 顕 E-mail：amatsumo(at)juntendo.ac.jp (at)を@に変更してください。 【オフィスアワー】 日時：前期期間中の木曜12：20～13：10 場所：2号館3階2317号室</p>			
<p>備考</p>			
<p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業1,400分と準備学習2,650分（＝総学修4,050分）の学修を必要とする内容をもって構成する。</p>			
<p>【その他】 受講人数が200人を超える場合には、高校生物の履修状況や生物学に関する基礎知識によって受講者の選別、および、授業方法の変更の可能性がある。</p>			
<p>授業計画 【授業内容と準備学修等】</p>			
授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（レポート）
1	松本 顕	<p>【授業内容】 細胞を基本とする生物の階層性について理解を深める。 ・細胞の構造について解説する。 ・脊椎動物の組織の成り立ちについて解説する。 ・ヒトの器官と器官系について解説する。</p> <p>【授業方法】 細胞を基本とする生物の階層性について理解を深めるため、図表、映像資料などを適宜使いながら解説を行う。</p>	<p>（予習：50分） 真核生物の細胞の構造、脊椎動物の基本組織、ヒトの器官と器官系についての概略を理解しておく事。</p> <p>（復習：100分） 授業プリントを見ながら、真核生物の細胞の構造、脊椎動物の基本組織、ヒトの器官と器官系について、専門用語を用いて正しい解説をノートに書き出す。</p>
2	松本 顕	<p>【授業内容】 細胞小器官に関して理解を深める。 ・細胞膜の機能と構造について解説する。 ・細胞小器官の機能と構造について解説する。 ・細胞小器官から見た原核生物と真核生物の共通点と相違点について解説する。</p> <p>【授業方法】 細胞小器官に関して理解を深めるため、図表、映像資料などを適宜使いながら解説を行う。</p>	<p>（予習：100分） 細胞小器官についての概略を理解しておく事。</p> <p>（復習：100分） 授業プリントを見ながら、細胞膜、核、ミトコンドリア、葉緑体、ゴルジ体、小胞体、リソソームなどの細胞小器官の機能と構造について、専門用語を用いて正しい解説をノートに書き出す。</p>

3	松本 顕	<p>【授業内容】 細胞内の物質の種類と役割、その消化と吸収のメカニズムについて理解を深める。 ・3大栄養素の基本構造、消化、吸収メカニズムについて解説する。 ・3大栄養素以外の細胞内物質に関して解説する。</p> <p>【授業方法】 細胞内の物質の種類と役割、その消化と吸収のメカニズムについて理解を深めるため、図表、映像資料などを適宜使いながら解説を行う。</p>	<p>(予習：100分)</p> <p>細胞内に存在する物質の種類、その消化と吸収メカニズムについての概略を理解しておく事。</p> <p>(復習：100分) 授業プリントを見ながら、細胞内に存在する物質の種類、その消化と吸収メカニズムについて、専門用語を用いて正しい解説をノートに書き出す。健康の維持増進、スポーツ競技に対する栄養摂取の役割について、専門用語を用いて正しい解説をノートに書き出す。</p>
4	松本 顕	<p>【授業内容】 酸素を必要としない細胞のエネルギー獲得について理解を深める。 ・好気呼吸と嫌気呼吸の違いについて解説する。 ・ATPについて解説する。 ・発酵と乳酸について解説する。 ・解糖系について解説する。</p> <p>【授業方法】 酸素を必要としない細胞のエネルギー獲得のメカニズム、および、身の回りでのそれらの反応系について理解を深めるため、図表、映像資料などを適宜使いながら解説を行う。</p>	<p>(予習：100分)</p> <p>酸素を用いないエネルギー獲得反応についての概略を理解しておく事。</p> <p>(復習：100分) 授業プリントを見ながら、酸素を用いないエネルギー獲得反応についてATPや解糖系、乳酸などといった専門用語を用いて正しい解説をノートに書き出す。また、その反応系の身の回りでの利用事例、スポーツとの関連に関してノートに書き出す。</p>
5	松本 顕	<p>【授業内容】 酸素を必要とする細胞のエネルギー獲得について理解を深める。 ・クエン酸回路に関して解説する。 ・酸化的リン酸化に関して解説する。</p> <p>【授業方法】 酸素を必要とする細胞のエネルギー獲得のメカニズム、および、それらの反応系の真核生物にとっての重要性に関して理解を深めるため、図表、映像資料などを適宜使いながら解説を行う。</p>	<p>(予習：100分)</p> <p>酸素を用いるエネルギー獲得反応についての概略を理解しておく事。</p> <p>(復習：100分) 授業プリントを見ながら、クエン酸回路、酸化的リン酸化について専門用語を用いて正しい解説をノートに書き出す。有酸素運動および無酸素運動と細胞内呼吸の関係について、専門用語を用いて正しい解説をノートに書き出す。なお、専門用語については講義中に指摘するもので充分であるが、余力や興味のある学生は、より詳しい化学反応式や物質名についても学習しておくこと良い。</p>

6	松本 顕	<p>【授業内容】 体細胞分裂について理解を深める。 ・体細胞分裂と減数分裂の違いに関して解説する。 ・体細胞分裂の細胞周期に関して解説する。 ・DNAの複製に関して解説する。</p> <p>【授業方法】 体細胞分裂の様式やDNA複製に関する理解を深めるため、図表、映像資料などを適宜使いながら解説を行う。</p>	<p>(予習：100分)</p> <p>細胞の増殖およびDNA複製に関する概略を理解しておく事。</p> <p>(復習：100分) 授業プリントを見ながら、体細胞分裂における細胞周期の各ステップで起きる現象、および、DNA複製のメカニズムに関して専門用語を用いて正しい解説をノートに書き出す。なお、専門用語については講義中に指摘するもので充分であるが、余力や興味のある学生は、より詳しい化学反応式や酵素名、DNAの化学構造について学習するとよい。</p>
7	松本 顕	<p>【授業内容】 遺伝子発現メカニズムの中でも特に転写に関する理解を深める。 ・ゲノム、遺伝子、DNAの関係性、また、それらの機能について解説する。 ・転写のメカニズムに関して解説する。</p> <p>【授業方法】 遺伝子の働きおよび転写に関して理解を深めるため、図表、映像資料などを適宜使いながら解説を行う。</p>	<p>(予習：100分)</p> <p>ゲノム、遺伝子、DNAの違いに関して概略を理解しておく事。遺伝子の転写メカニズムに関して概略を理解しておく事。</p> <p>(復習：100分) 授業プリントを見ながら、遺伝子の働きおよび転写メカニズムについて専門用語を用いて正しい解説をノートに書き出す。</p>
8	松本 顕	<p>【授業内容】 遺伝子発現メカニズムの中でも特に翻訳に関する理解を深める。 ・mRNAからタンパク質への翻訳メカニズムに関して解説する。 ・ゲノム研究の社会的影響やスポーツ競技への影響に関して解説する。</p> <p>【授業方法】 遺伝子の翻訳メカニズムに関して理解を深めるため、図表、映像資料などを適宜使いながら解説を行う。また、ゲノム研究の現状と課題について解説し[時間があれば]少人数でのグループ討論も行う。</p>	<p>(予習：100分)</p> <p>遺伝子の翻訳メカニズムの概略を理解しておく事。ゲノム研究の社会的影響に関してネットなどで調べておく事。</p> <p>(復習：100分) 授業プリントを見ながら、翻訳について専門用語を用いて正しい解説をノートに書き出す。ゲノム研究の社会的影響やスポーツ競技への影響を書き出し、講義中のグループ討論も参考にしながら、自分の意見を専門用語を用いてノートにまとめる。</p>

9	松本 顕	<p>【授業内容】 減数分裂とヒト生殖細胞の形成について理解を深める。 ・減数分裂の過程に関して解説する。 ・ヒト生殖細胞の形成に関して解説する。</p> <p>【授業方法】 減数分裂の過程をふまえた上でヒト生殖細胞の形成に関して理解を深めるため、図表、映像資料などを適宜使いながら解説を行う。</p>	<p>(予習：100分)</p> <p>第6回の講義内容の、体細胞分裂の細胞周期に関して復習した上で、減数分裂と体細胞分裂の共通点と相違点を理解しておく事。ヒト生殖細胞の形成に関して概略を調べておく事。</p> <p>(復習：100分) 授業プリントを見ながら、減数分裂の特徴と過程について専門用語を用いて正しい解説をノートに書き出す。減数分裂の各ステップを基準として、ヒト生殖細胞の形成過程をノートに書き出し、特徴をまとめる。</p>
10	松本 顕	<p>【授業内容】 細胞の分化と発生について理解を深める。 ・ヒト胚の初期発生に関して解説する。 ・三胚葉からの組織・器官の分化に関して解説する。 ・生殖医療や再生医療の現状と課題に関して解説する。</p> <p>【授業方法】 細胞の分化と発生について、特にヒト胚の初期発生に関する理解を深めるため、図表、映像資料などを適宜使いながら解説を行う。</p>	<p>(予習：100分)</p> <p>多細胞生物における初期発生の概略を理解しておく事。</p> <p>(復習：100分) 授業プリントを見ながら、ヒト胚の初期発生の様式、三胚葉からの組織・器官形成について専門用語を用いて正しい解説をノートに書き出す。生殖医療、再生医療の現状と課題をふまえてそれらに対する自分の意見をノートにまとめる。</p>
11	松本 顕	<p>【授業内容】 細胞の運命決定と分化における遺伝子の機能について理解を深める。 ・遺伝子発現の調節に関して解説する。 ・ホメオティック遺伝子に関して解説する。</p> <p>【授業方法】 細胞の運命決定と分化における遺伝子の機能に関して理解を深めるため、図表、映像資料などを適宜使いながら解説を行う。</p>	<p>(予習：100分)</p> <p>遺伝子発現の調節メカニズムの概略を理解しておく事。</p> <p>(復習：100分) 授業プリントを見ながら、遺伝子発現の調節機構およびホメオティック遺伝子の働きについて専門用語を用いて正しい解説をノートに書き出す。</p>
12	松本 顕	<p>【授業内容】 細胞および個体の老化現象と死について理解を深める。 ・老化の特徴に関して解説する。 ・プログラム細胞死に関して解説する。 ・老化のプログラム説に関して解説する。</p> <p>【授業方法】 細胞および個体の老化現象と死に関して、主にプログラム説からの理解を深めるため、図表、映像資料などを適宜使いながら解説を行う。</p>	<p>(予習：100分)</p> <p>テロメアの構造と機能、DNA複製との関係についての概略を理解しておく事。</p> <p>(復習：100分) 授業プリントを見ながら、プログラム細胞死のメカニズムおよび老化のプログラム説について専門用語を用いて正しい解説をノートに書き出す。</p>

13	松本 顕	<p>【授業内容】 細胞および個体の老化現象と死について理解を深める。 ・老化の傷害蓄積説に関して解説する。 ・老化のプログラム説と傷害蓄積説の関係性に関して解説する。 ・高齢化社会の問題、老化制御の取り組みに関して解説する。</p> <p>【授業方法】 細胞および個体の老化現象と死に関して、傷害蓄積説からの理解を深めるため、図表、映像資料などを適宜使いながら解説を行う。さらに、老化制御研究の最新の話題を紹介する。</p>	<p>(予習：50分) 活性酸素の細胞への影響についての概略を理解しておく事。</p> <p>(復習：100分) 授業プリントを見ながら、老化の傷害蓄積説について専門用語を用いて正しい解説をノートに書き出す。DNA複製、好気呼吸、生殖細胞の形成など真核生物における細胞機能が老化とどのように結びついているかをノートにまとめる。</p>
14	松本 顕	<p>【授業内容】 「細胞の生物学」の授業のまとめを行い、以下の事項を有機的に結びつける。 1. 細胞の構造 2. 細胞の機能 3. 細胞内での生化学反応や代謝 4. 各種の細胞および組織のヒトの生命活動における役割 5. 生命科学の現代社会への影響</p> <p>【授業方法】 これまでに配布したプリント、各自でノートにまとめてきた予習復習課題への解答を見ながら、これまでの授業を振り返り、それぞれの内容の関連性を解説する。</p>	<p>(予習：50分) これまでの授業内容をプリントやノートで振り返ってまとめておく事。</p> <p>(復習：100分) 授業プリントやノートを見ながら、各単元の重要概念、キーワードをノートに書き出す。それらの関連性をイメージ図としてまとめる。</p>
		定期試験の実施	

授業科目名	【新カリ】一般化学		授業形態	講義
英語科目名			開講学期	半期（前期または後期）
対象学年	1	1	単位数	2.0
科目責任者	志村 絵理			
科目担当者	志村 絵理			
授業概要	<p>【授業全体の内容】 本科目は、講義の授業形態で行われる。生体は有機物を始めとした様々な種類の化学物質の集合体である。この授業では、生体を構成する生体物質や体内で生じる反応を理解するために必須となる化学的知識の習得を目標とする。また、化学の基礎を学ぶだけでなく、生化学や生理学等の関連科目で扱われる生命現象との関連についても学ぶ。</p> <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】 この科目は「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」という学位授与方針の達成に寄与する。</p> <p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 物質を構成する原子・分子についてその基本的な構造、性質を説明することができる。 2. 物質が示す気体・液体・固体という3つの状態についてその特徴を説明できる。特に気体の性質について説明できる。 3. 物質が水に溶ける、溶けないを決めている水との相互作用について説明できる。 4. 水溶液の性質、特に濃度、酸と塩基、緩衝作用について説明できる。 5. 有機化合物について、その基本構造と官能基とその反応について説明できる。 6. 脂質の種類と基本性質について説明できる。 7. 糖質の種類と基本性質について説明できる。 8. アミノ酸・タンパク質の基本構造と性質について説明できる 			
成績評価	<p>【成績評価の基準】 以下の各項目について、中間試験および定期テストで評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 物質を構成する原子・分子についてその基本的な構造、性質を説明することができる。 2. 物質が示す気体・液体・固体という3つの状態についてその特徴を説明できる。特に気体の性質について説明できる。 3. 物質が水に溶ける、溶けないを決めている水との相互作用について説明できる。 4. 水溶液の性質、特に濃度、酸と塩基、緩衝作用について説明できる。 5. 有機化合物について、その基本構造と官能基とその反応について説明できる。 6. 脂質の種類と基本性質について説明できる。 7. 糖質の種類と基本性質について説明できる。 8. アミノ酸・タンパク質の基本構造と性質について説明できる。 <p>【成績評価の方法】 中間試験40%、期末試験40%で評価します。残りの20%は授業の終わりに出した課題の解答内容や授業中の態度、授業に対する積極性などを評価します。出欠席については学則に準じます。</p>			
履修における留意事項	<p>【履修要件】 特になし</p> <p>[履修上の注意(科目独自のルール)] 特になし</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 授業期間中に課す問題については、授業内で解説を行う。</p> <p>【テキスト・参考書等】 教科書：山倉文幸・大森大二郎・馬場猛著、『化学の視点』、東京教学社、2017年 その他、授業中に適宜、資料を配布します。</p>			
連絡先とオフィスアワー				

【連絡先】
 担当：連絡先は授業内で知らせる。
 E-mail：
【オフィスアワー】
 日時：前期の月曜日 12時から13時
 場所：2号館2階2115室
 上記の時間帯には、予約なしに質問や相談に応じますが、他の学生の相談時間と合わないようするため、できるだけ前日までに
 E-mail等で予約してください。質問や相談は予約のあった学生を優先します。

備考

【学修時間】
 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容を持って構成する。

【その他】
 特になし

授業計画 【授業内容と準備学修等】

授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（レポ -
1	志村	【授業内容】 原子・分子・イオンについて理解を深める。 【授業方法】 講義を行い、それに基づいた小問題を解く。	（予習：2時間） 使用教科書のp2~p12を予め読んでおくこと。 （復習：2時間） 講義で取り上げた箇所について教科書を読み、理解を深めておく。
2	志村	【授業内容】 化学結合について理解を深める。 【授業方法】 講義を行い、それに基づいた小問題を解く。	（予習：2時間） 使用教科書のp14~p25を予め読んでおくこと。 （復習：2時間） 講義で取り上げた箇所について教科書を読み、理解を深めておく。
3	志村	【授業内容】 物質の状態について理解を深める。 【授業方法】 講義を行い、それに基づいた小問題を解く。	（予習：2時間） 使用教科書のp28~p40を予め読んでおくこと。 （復習：2時間） 講義で取り上げた箇所について教科書を読み、理解を深めておく。
4	志村	【授業内容】 酸と塩基について理解を深める。 【授業方法】 講義を行い、それに基づいた小問題を解く。	（予習：2時間） 使用教科書のp42~p48を予め読んでおくこと。 （復習：2時間） 講義で取り上げた箇所について教科書を読み、理解を深めておく。

5	志村	<p>【授業内容】 化学反応の速さと化学平衡について理解を深める。</p> <p>【授業方法】 講義を行い、それに基づいた小問題を解く。</p>	<p>(予習：2時間)</p> <p>使用教科書のp50~p56を予め読んでおくこと。</p> <p>(復習：2時間) 講義で取り上げた箇所について教科書を読み、理解を深めておく。</p>
6	志村	<p>【授業内容】 化学反応とエネルギーについて理解を深める。</p> <p>【授業方法】 講義を行い、それに基づいた小問題を解く。</p>	<p>(予習：2時間)</p> <p>使用教科書のp58~p63を予め読んでおくこと。</p> <p>(復習：2時間) 講義で取り上げた箇所について教科書を読み、理解を深めておく。</p>
7	志村	<p>【授業内容】 酸化還元反応について理解を深める。</p> <p>【授業方法】 講義を行い、それに基づいた小問題を解く。</p>	<p>(予習：2時間)</p> <p>使用教科書のp66~p75を予め読んでおくこと。</p> <p>(復習：2時間) 講義で取り上げた箇所について教科書を読み、理解を深めておく。</p>
8	志村	<p>【授業内容】 マークシートによる中間試験を予定</p> <p>【授業方法】</p>	<p>(予習：3時間)</p> <p>これまでの講義内容</p> <p>(復習：3時間) これまでの講義内容</p>
9	志村	<p>【授業内容】 炭化水素について理解を深める。</p> <p>【授業方法】 講義を行い、それに基づいた小問題を解く。</p>	<p>(予習：2時間)</p> <p>使用教科書のp78~p92を予め読んでおくこと。</p> <p>(復習：2時間) 講義で取り上げた箇所について教科書を読み、理解を深めておく。</p>
10	志村	<p>【授業内容】 酸素原子を含む有機化合物について理解を深める。</p> <p>【授業方法】 講義を行い、それに基づいた小問題を解く。</p>	<p>(予習：2時間)</p> <p>使用教科書のp94~p112を予め読んでおくこと。</p> <p>(復習：2時間) 講義で取り上げた箇所について教科書を読み、理解を深めておく。</p>
11	志村	<p>【授業内容】 窒素を含む有機化合物について理解を深める。</p> <p>【授業方法】 講義を行い、それに基づいた小問題を解く。</p>	<p>(予習：2時間)</p> <p>使用教科書のp114~p124を予め読んでおくこと。</p> <p>(復習：2時間) 講義で取り上げた箇所について教科書を読み、理解を深めておく。</p>

12	志村	<p>【授業内容】 糖質(炭水化物)について理解を深める。</p> <p>【授業方法】 講義を行い、それに基づいた小問題を解く。</p>	<p>(予習：2時間)</p> <p>使用教科書のp126~p138を予め読んでおくこと。</p> <p>(復習：3時間)</p> <p>講義で取り上げた箇所について教科書を読み、理解を深めておく。</p>
13	志村	<p>【授業内容】 脂質の構造と働きについて理解を深める。</p> <p>【授業方法】 講義を行い、それに基づいた小問題を解く。</p>	<p>(予習：2時間)</p> <p>使用教科書のp140~p149を予め読んでおくこと。</p> <p>(復習：3時間)</p> <p>講義で取り上げた箇所について教科書を読み、理解を深めておく。</p>
14	志村	<p>【授業内容】 アミノ酸とタンパク質について理解を深める。</p> <p>【授業方法】 講義を行い、それに基づいた小問題を解く。</p>	<p>(予習：2時間)</p> <p>使用教科書のp152~p166を予め読んでおくこと。</p> <p>(復習：2時間)</p> <p>講義で取り上げた箇所について教科書を読み、理解を深めておく。</p>
		<p>定期試験の実施 マークシートによる期末試験</p>	

授業科目名	【新カリ】基礎の物理		授業形態	講義
英語科目名			開講学期	半期（前期または後期）
対象学年	1	1	単位数	2.0
科目責任者	田中 和廣			
科目担当者	田中 和廣			
授業概要				
<p>【授業全体の内容】</p> <p>本科目は、講義の授業形態で行われる。18世紀の古典力学の時代から20世紀の物理である現代物理の誕生の歴史に沿った形で約300年の物理学の発展を概観し、我々の生活を支える現代物理学の基礎について学ぶ。これらの基礎事項の中には現代社会に不可欠な情報セキュリティへと繋がる技術や、放射線といった身近なテーマも含まれる。現代社会を支える技術について物理学的な基本知識を身に付けることを目標とする。</p> <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】</p> <p>この科目は「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」という学位授与方針の達成に寄与する。</p> <p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 力学の基本となる概念・法則を理解し身近な現象に応用できるようになり、自ら考え問題を解決する能力を身につける。 2. 物体の慣性とニュートンの運動の第1法則について説明できる。 3. 物体にはたらく力とニュートンの運動の第2法則について説明できる。 4. 放物運動の軌道が作図でき、スポーツで見られる放物運動の例、放物運動と衛星の運動の関係について説明できる。 5. 力のつり合いと力のモーメントのつり合いを用いて、ボディメカニクスを説明できる。 				
成績評価				
<p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の終わりに実施するまとめの練習問題の解答用紙を毎回回収し、練習問題に積極的に取り組んでいるか（自分でまず答案を考えてから模範解答と照合し、理解度の自己チェックができていないか）を評価し、取り組みが良くない場合には減点する。 2. 運動の測定データを速度、加速度を用いて分析し、これを活用した推論ができるか、授業内の課題で評価する。 3. 等加速度運動する物体がもつ速さと到達する距離を求めることができるか、期末試験で評価する。 4. 物体の慣性とニュートンの運動の第1法則について説明できるか、期末試験で評価する。 5. さまざまな状況下で運動がどうなっていくかを、ニュートンの運動の第2法則を用いて予測できるか、期末試験で評価する。 6. 放物運動の軌道を作図して求めることができるか、授業内の課題と期末試験で評価する。 7. 力のつり合いと力のモーメントのつり合いをボディメカニクスに活用できるか、授業内の課題と期末試験で評価する。 <p>【成績評価の方法】</p> <p>期末試験（多肢選択マーク80%、記述20%）によって評価する。なお、授業態度や、毎回の授業の終わりに実施するまとめの練習問題への取り組みが良くない場合には、減点の対象となるので注意すること。</p>				
履修における留意事項				
<p>【履修要件】</p> <p>高校で物理を学んでいなくてよい。</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）]</p> <p>特になし。</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】</p> <p>毎回の授業の終わりにはまとめの練習問題を出題し、模範解答も提示するので、積極的に取り組んで各自の理解度のチェックに役立てること。</p> <p>【テキスト・参考書等】</p> <p>テキスト：特に指定しない。</p> <p>参考書：ポール G. ヒューエット他著「力と運動（物理科学のコンセプト1）」（共立出版、1997）、飽本一裕著「クイズで学ぶ大学の物理」（講談社ブルーバックス、2001）</p>				
連絡先とオフィスアワー				

<p>【連絡先】 担当：田中和廣 E-mail：kztanaka[at]juntendo.ac.jp [at] を@に変更してください。</p> <p>【オフィスアワー】 日時：木曜日9:00から15:00 場所：1号館 3階1314 物理学研究室 上記の時間帯には、予約なし質問や相談に応じますが、他の学生の相談時間とかち合わないよう するため、できるだけ前日までにE-mailで予約してください。質問や相談は予約のあった学生を優先します。</p>			
<p>備考</p> <p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>【その他】 「速さとは？」といった簡単な話から始めて、一段一段階段を上るように、力学の基礎となるポイントを発見的に学んでいくので、欠かさず出席し興味を持って授業に臨んで欲しい。授業計画は、受講者の理解の状況に応じて多少前後することがある。 また、新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、成績評価の基準、方法及び授業計画を変更する場合があります。</p>			
<p>授業計画 【授業内容と準備学修等】</p>			
授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（レポート）
1	田中 和廣	<p>【授業内容】 物理とは？力学とは？</p> <p>【授業方法】 物理と力学的自然観、物理学と他の学問との関係について解説する。</p>	<p>（予習：1時間）</p> <p>物理学がスポーツ健康科学に役立つことを示すと思われる具体例を、各自考えてくること。</p> <p>（復習：1時間半） 長さ・質量・時間を測るMKS単位系について復習する。</p>
2	田中 和廣	<p>【授業内容】 運動と速さ</p> <p>【授業方法】 「速さ」に2種類あること（“平均の速さ”と“瞬間の速さ”）について解説する。</p>	<p>（予習：1時間）</p> <p>前回講義内容を復習する。スピードガンで球速を測るしくみについて調べること。</p> <p>（復習：1時間半） 瞬間の速さから平均の速さを割り出す方法を復習する。</p>
3	田中 和廣	<p>【授業内容】 運動をどのように表現するか？</p> <p>【授業方法】 速度と加速度によって、運動が詳細に表現できることについて解説する。</p>	<p>（予習：1時間）</p> <p>前回講義内容を復習する。乗り物酔いがなぜ起きるかについて調べること。</p> <p>（復習：1時間半） 減速する運動では加速度をどう表すか復習すること。</p>
4	田中 和廣	<p>【授業内容】 スキーで直滑降をしたとき</p> <p>【授業方法】 「斜面をころがる球」の演示実験の測定データを各自が分析し、等加速度運動の証拠を探る。</p>	<p>（予習：1時間）</p> <p>前回講義内容を復習する。加速度が変化する運動・変化しない運動の例を挙げる。</p> <p>（復習：1時間半） 「斜面をころがる球」の演示実験のデータから作成した“速さのグラフ”を復習し傾きを求める。</p>

5	田中 和廣	<p>【授業内容】 等加速度運動の応用</p> <p>【授業方法】 加速度から速さと距離を求める方法について解説する。</p>	<p>(予習：1時間)</p> <p>前回講義内容を復習する。スキージャンプの踏み切りのときの時速を調べること。</p> <p>(復習：1時間半) 速さと距離を求める式を自分で導けるよう復習すること。</p>
6	田中 和廣	<p>【授業内容】 落下する物体</p> <p>【授業方法】 自由落下が等加速度運動であることを解説する。また、自由落下運動の演示実験の測定データを分析し、重力加速度の値を割り出す。</p>	<p>(予習：1時間)</p> <p>等加速度運動の講義ノートを見直し疑問点を調べること。</p> <p>(復習：10時間半) 垂直跳びのハングタイムの求め方を復習すること。また、「演習問題(その1)」を授業で配布するので、1~6回の授業の総復習としてこれから毎日少しずつ解き、参考書「力と運動」の巻末に出ている解答で答え合わせすること。</p>
7	田中 和廣	<p>【授業内容】 車は急に止まらない!</p> <p>【授業方法】 “ニュートンの運動の第1法則”と慣性について解説する。</p>	<p>(予習：1時間)</p> <p>前回講義内容を復習する。カーリングではなぜブラシで氷をこすのか調べること。</p> <p>(復習：1時間半) 質量が慣性の強さを表すことについて復習すること。</p>
8	田中 和廣	<p>【授業内容】 月や火星に行くと体重はいくらになるか?</p> <p>【授業方法】 力学で質量と重さがどう区別されるか解説する。</p>	<p>(予習：1時間)</p> <p>前回講義内容を復習する。国際宇宙ステーションでの無重力状態について調べる。</p> <p>(復習：1時間半) 重さを測る単位N(ニュートン)について復習すること。</p>
9	田中 和廣	<p>【授業内容】 力と運動方程式</p> <p>【授業方法】 “ニュートンの運動の第2法則”と未来の運動の予測について解説する。</p>	<p>(予習：1時間)</p> <p>前回講義内容を復習する。静電気ではたらく力や磁石にはたらく力について調べる。</p> <p>(復習：1時間半) 摩擦力がはたらく場合の合力の求め方を復習すること。</p>
10	田中 和廣	<p>【授業内容】 落下運動と重力</p> <p>【授業方法】 落下運動が運動の第2法則からどうとらえられるかについて考え、空気抵抗の効果についても解説する。</p>	<p>(予習：1時間)</p> <p>前回講義内容を復習する。スポーツで空気抵抗を減らす方法の例を調べること。</p> <p>(復習：10時間半) 空気抵抗があるときの落下の加速度の求め方を復習。また、「演習問題(その2)」を授業で配布するので、7~10回の授業の総復習としてこれから毎日少しずつ解き、参考書「力と運動」の巻末に出ている解答で答え合わせすること。</p>

11	田中 和廣	<p>【授業内容】 遠くへ飛んだり物を投げたりするには？</p> <p>【授業方法】 放物運動の軌道と到達距離を作図して求める方法を解説する。</p>	<p>(予習：1時間)</p> <p>前回講義内容を復習する。自由落下の落下距離の求め方の講義ノートを見直す。</p> <p>(復習：1時間半) 放物運動を作図して到達距離が出せるよう復習する。</p>
12	田中 和廣	<p>【授業内容】 放物運動と人工衛星の飛ばし方</p> <p>【授業方法】 地球のまわりをめぐる人工衛星や月の軌道を放物運動から考察し、第1宇宙速度についても解説する。</p>	<p>(予習：1時間)</p> <p>前回講義内容を復習する。スポーツで放物運動が見られる例を5つ以上挙げる。</p> <p>(復習：1時間半) 地球表面の湾曲が第1宇宙速度を決めることを復習。</p>
13	田中 和廣	<p>【授業内容】 相互作用としての力</p> <p>【授業方法】 “ニュートンの運動の第3法則”と作用・反作用について解説する。万有引力による相互作用を考察し、重力加速度の値から地球の質量を割り出す。</p>	<p>(予習：1時間)</p> <p>前回講義内容を復習する。地球と月の質量・半径がそれぞれいくらか調べること。</p> <p>(復習：1時間半) 万有引力の法則から月表面での重力加速度を求める。</p>
14	田中 和廣	<p>【授業内容】 人体の筋肉と関節にかかる力</p> <p>【授業方法】 力のモーメントとボディメカニクスについて解説する。</p>	<p>(予習：1時間)</p> <p>前回講義内容を復習する。人体の重心はどこか調べること。</p> <p>(復習：8時間半) スポーツや介護動作における具体例を、力のつりあいとてこの原理で説明してみる。また、「演習問題(その3)」を授業で配布するので、11~14回の授業の総復習として解き、参考書「力と運動」の巻末に出ている解答で答え合わせすること。</p>
		定期試験の実施	多肢選択マーク問題と記述問題による筆記試験を実施するので、1~14回の講義内容を復習し、毎回の授業の終わりに実施したまとめの練習問題の解答用紙(前回授業で返却)も見直しておくこと。

授業科目名	【新カリ】統計学		授業形態	講義
英語科目名			開講学期	半期（前期または後期）
対象学年	1	2	単位数	2.0
科目責任者	廣津 信義			
科目担当者	廣津 信義			
授業概要				
<p>【授業全体の内容】 本科目は、講義の授業形態で行われる。統計学はデータを基に、定量的に現象を把握するだけでなく、相手を説得する際に必要となる学問である。統計学の基礎的な概念を理解するとともに、統計計算を実践することで、スポーツ健康科学部での学びで必要となる統計理論、また、母集団と標本、標本の特性値、確率分布、標本分布、推定、検定という用語や概念を理解する。</p> <p>【授業の位置づけ（学位授与方針に定められている知識・能力等との関連）】 この科目は「スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養」という学位授与方針の達成に寄与する。</p> <p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツ健康科学にて必須となる統計学の専門用語を覚える。 2. 測定や調査・実験にて得られたデータの解析にあたって、分散、標準偏差、標準得点など基本的な統計量の計算ができる。 3. 推定・検定など統計学で使われる基礎的な概念が理解できる。 4. 相関や回帰分析に関する計算ができる。 				
成績評価				
<p>【成績評価の基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツ健康科学にて必須となる統計学の専門用語を覚える（定期試験）。 2. 測定や調査にて得られたデータの解析にあたって、分散、標準偏差、標準得点など基本的な統計量の計算ができる（定期試験）。 3. 推定・検定など統計学で使われる基礎的な概念が理解できる（定期試験）。 4. 相関や回帰分析に関する計算ができる（定期試験）。 5. 毎回のレポート課題や予習・復習の取り組み状況によって受講態度を評価する（平常点）。 <p>【成績評価の方法】 期末試験（85%）、毎回の平常点（15%）を総合して評価する。</p>				
履修における留意事項				
<p>【履修要件】 特になし</p> <p>[履修上の注意（科目独自のルール）] 1回の授業について、3分の2以上の出席時間がない場合は、その回の授業を欠席扱いとする。</p> <p>【課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法】 プリント課題の内容は授業中にフィードバックする。定期試験後には要望があれば個別に解説を行う。</p> <p>【テキスト・参考書等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎統計学(栄養科学シリーズNEXT)、鈴木良雄・廣津信義、講談社（2012） 2. 統計学は最強の学問である、西内啓、ダイヤモンド社（2013） <p>この科目では、必ず用意しなければならないテキストはありません。必要な資料は、授業中に配布します。上記の2点は、レポート作成の際や準備学習での参考書として薦めます。</p>				
連絡先とオフィスアワー				
<p>【連絡先】 担当： 廣津信義 E-mail：nhirotsu[at]juntendo.ac.jp（[at]を@に変更してください）</p> <p>【オフィスアワー】 日時：火曜日 13：10から14：45 場所：1号館3階1327室 上記の時間帯は予約がなくても対応しますが、予約があった学生を優先します。</p>				

備考			
<p>【学修時間】 この授業は、講義の授業形態による2単位の科目であり、授業30時間と準備学習60時間の計90時間の学修を必要とする内容をもって構成する。</p> <p>[実務経験のある教員による授業] 製鉄関連企業においてプラントエンジニアとしての業務にあたった経験も生かし、統計学が実社会で有用であるということも織り込みながら授業をします。</p> <p>【その他】 特になし</p>			
授業計画 【授業内容と準備学修等】			
授業回数	担当	授業内容（授業方法を含む）	準備学修（予習・復習）の内容、必要時間（ポ-
1	廣津	<p>〔授業内容〕 授業の内容を把握するとともに、基礎的な統計学の考え方を理解する。</p> <p>〔授業方法〕 授業目的や評価方法と授業の進め方を説明する。統計学の考え方を提示し解説する。</p>	<p>（予習：2時間） シラバスを読み、授業の内容を確認する。 （復習：2時間） ガイダンスを受け、自分にとっての受講の意義を確認すること。</p>
2	廣津	<p>〔授業内容〕 統計と統計学という用語の理解を深める。データの収集方法について学習する。</p> <p>〔授業方法〕 データの収集方法について解説するとともに、練習問題を解いてもらい3名程度のグループで討議する。</p>	<p>（予習：3時間） プリントを読み、疑問点について調べてくること。 （復習：3時間） プリントを再読し、理解を深めること。</p>
3	廣津	<p>〔授業内容〕 標本と母集団の概念を理解する。データ整理の例として度数分布表を作成できるようになる。</p> <p>〔授業方法〕 標本と母集団の概念を解説する。度数分布表の作成方法を示し、具体的な例で作成してみる。</p>	<p>（予習：2時間） プリントを読み、疑問点について調べてくること。 （復習：2時間） プリントを再読し、理解を深めること。</p>
4	廣津	<p>〔授業内容〕 記述統計として重要となるメジアン、モード、平均値、分散、標準偏差を理解する。</p> <p>〔授業方法〕 メジアン、モード、平均値、分散、標準偏差の意味と計算方法を解説する。例をもとに計算を行う。インフォグラフィックについてグループで資料作成し発表する。</p>	<p>（予習：2時間） インフォグラフィックスの資料を作成する。 （復習：2時間） 他Grの資料をよみ、理解を深めること。</p>
5	廣津	<p>〔授業内容〕 統計学の背後にある確率の概念を把握する。</p> <p>〔授業方法〕 確率の意味と計算方法を解説する。例をもとに計算を行う。不明点については3名程度のグループで討議する。</p>	<p>（予習：2時間） プリントを読み、疑問点について調べてくること。 （復習：2時間） プリントを再読し、理解を深めること。</p>

6	廣津	<p>[授業内容] 連続型の確率分布として最重要である正規分布について学び、正規分布を利用した計算方法を習得する。</p> <p>[授業方法] 正規分布について解説する。標準得点や偏差値の計算を行う。不明点については3名程度のグループで討議する。</p>	<p>(予習 : 2時間)</p> <p>プリントを読み、疑問点について調べてくること。</p> <p>(復習 : 2時間)</p> <p>プリントを再読し、理解を深めること。</p>
7	廣津	<p>[授業内容] 離散型の確率分布として最重要である二項分布について学び、二項分布を利用した計算方法を習得する。</p> <p>[授業方法] 二項分布について解説する。問題を解いて、不明点については3名程度のグループで討議する。</p>	<p>(予習 : 2時間)</p> <p>プリントを読み、疑問点について調べてくること。</p> <p>(復習 : 2時間)</p> <p>プリントを再読し、理解を深めること。</p>
8	廣津	<p>[授業内容] 母集団の平均値を推定するための区間推定の概念と計算手法を理解する。</p> <p>[授業方法] 中心極限定理と区間推定の概念を説明する。具体的な計算手法を例示する。不明点については3名程度のグループで討議する。</p>	<p>(予習 : 2時間)</p> <p>プリントを読み、疑問点について調べてくること。</p> <p>(復習 : 2時間)</p> <p>プリントを再読し、理解を深めること。</p>
9	廣津	<p>[授業内容] 母比率を推定するための区間推定の概念と計算手法を理解する。</p> <p>[授業方法] 母比率の区間推定の考え方を説明する。具体的な計算手法を例示する。不明点については3名程度のグループで討議する。</p>	<p>(予習 : 2時間)</p> <p>プリントを読み、疑問点について調べてくること。</p> <p>(復習 : 2時間)</p> <p>プリントを再読し、理解を深めること。</p>
10	廣津	<p>[授業内容] 検定の概念について学び、母平均値の検定の方法を区間推定と比較しながら学習する。</p> <p>[授業方法] 検定の考え方を説明する。具体的な計算手法を例示する。不明点については3名程度のグループで討議する。</p>	<p>(予習 : 2時間)</p> <p>プリントを読み、疑問点について調べてくること。</p> <p>(復習 : 2時間)</p> <p>プリントを再読し、理解を深めること。</p>
11	廣津	<p>[授業内容] 平均値の差の検定の方法を理解する。</p> <p>[授業方法] 平均値の差の検定の方法を説明する。具体的な計算手法を例示する。不明点については3名程度のグループで討議する。</p>	<p>(予習 : 2時間)</p> <p>プリントを読み、疑問点について調べてくること。</p> <p>(復習 : 2時間)</p> <p>プリントを再読し、理解を深めること。</p>

12	廣津	<p>[授業内容] 母比率の差の検定の方法を理解する。発表会のための事前準備を行う。</p> <p>[授業方法] 母比率の差の検定の方法を説明する。具体的な計算手法を例示する。不明点については3名程度のグループで討議する。グループ発表の方法を説明する。</p>	<p>(予習 : 2時間)</p> <p>プリントを読み、疑問点について調べてくること。</p> <p>(復習 : 2時間)</p> <p>プリントを再読し、理解を深めること。</p>
13	廣津	<p>[授業内容] 相関の概念を学ぶとともに、相関係数の算出法や、回帰式の決定法について学習する。</p> <p>[授業方法] 相関の概念を説明する。相関係数の計算方法を例示する。回帰分析の方法を提示し、計算手法を例示する。不明点については3名程度のグループで討議する。</p>	<p>(予習 : 2時間)</p> <p>プリントを読み、疑問点について調べてくること。</p> <p>(復習 : 2時間)</p> <p>プリントを再読し、理解を深めること。</p>
14	廣津	<p>[授業内容] 授業で学んだ知識を基にグループワークとして、統計分析を行い、パワーポイントを用いて発表する。</p> <p>[授業方法] 3名程度のグループをトーナメント方式で対戦する形で分析結果を提示し、上位チームは全体発表する。</p>	<p>(予習 : 3時間)</p> <p>授業の内容を復習し、発表会のための準備を行う。</p> <p>(復習 : 1時間)</p> <p>他Grの発表内容についての理解を深めること。</p>
		定期試験の実施	